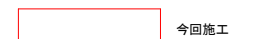
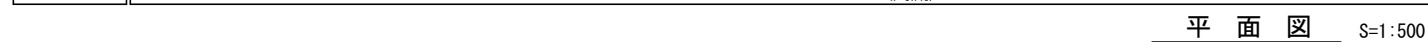
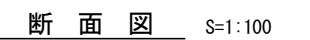


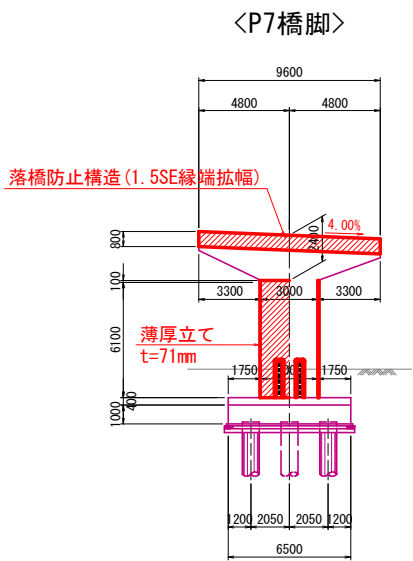
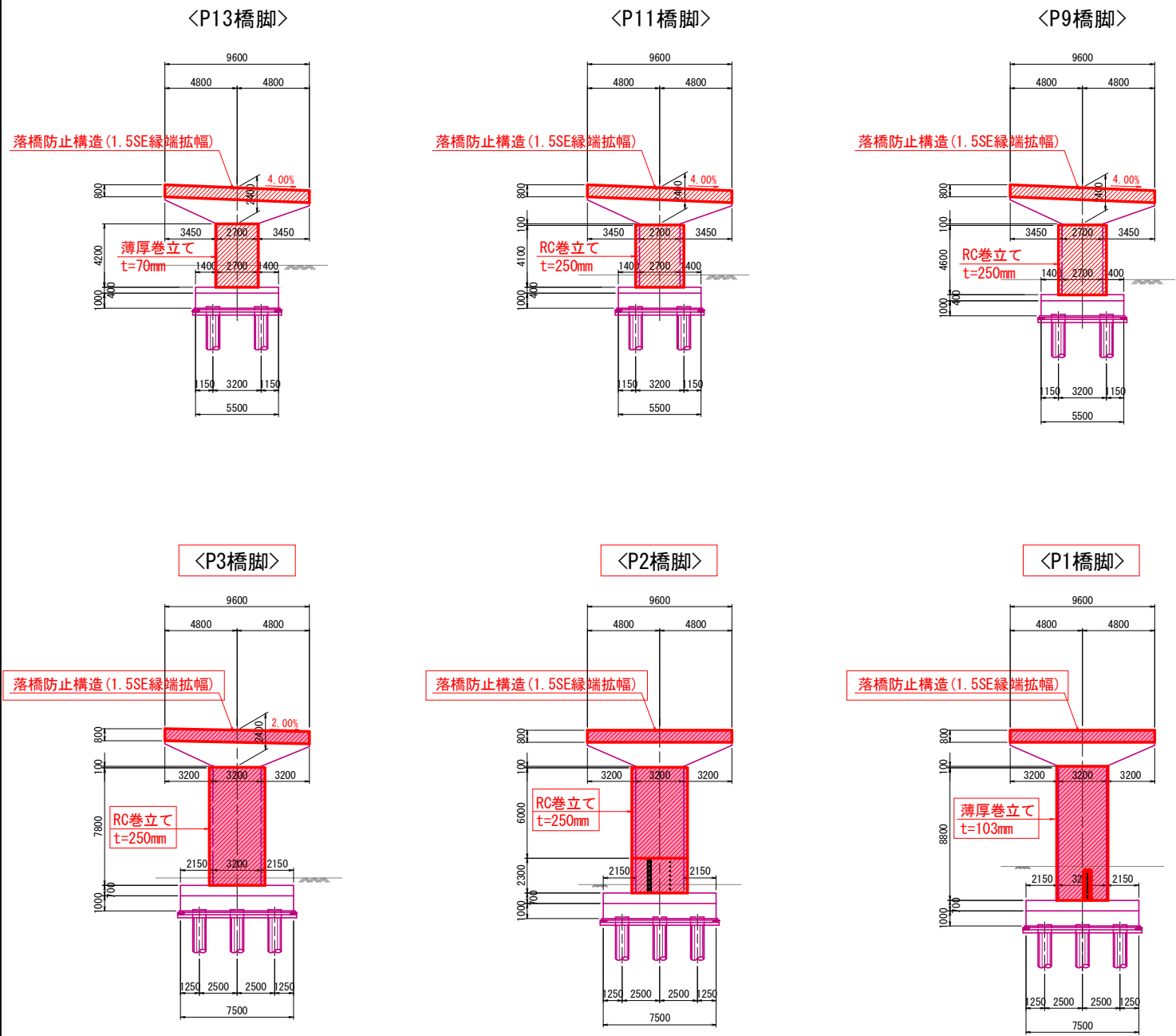
側 面 図 S=1:500



工事名	県道寒河河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	金岡高架橋 耐震補強一般図(その1)		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	1 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

注記: 起点側現況地形は、「地理院地図」をトレースしたものである。

金岡高架橋 耐震補強一般図(その2) S=1:200



耐震補強対策一覧表

構造		対策	対策箇所																	
			A2	P13	P12	P11	P10	P9	P8	P7	P6	P5	P4	P3	P2	P1				
橋脚柱補強構造		RC巻立て	—	—	○	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○	—	○	○	○	—
		薄厚巻立て (PCM)	—	○	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	○	○	○	○	—
支承補強構造	水平力分担構造 (橋軸)	アンカーバー (横桁増厚)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	水平力分担構造 (直角)	アンカーバー (横桁増厚)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	段差防止構造	支承高が低いため設置しない																		
落橋防止システム	桁かかり長	桁かかり長は満足している																		
	落橋防止構造	1.5SE桁座拡幅	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	横変位拘束構造	回転落橋の可能性が低いため設置しない																		

注記:1. 主桁、横桁のPCケーブル切断のリスク回避のため、落橋防止構造は1.5SE桁座拡幅を採用している。  
2. 支承補強構造として、増厚した横桁内部にアンカーバーを設置する。

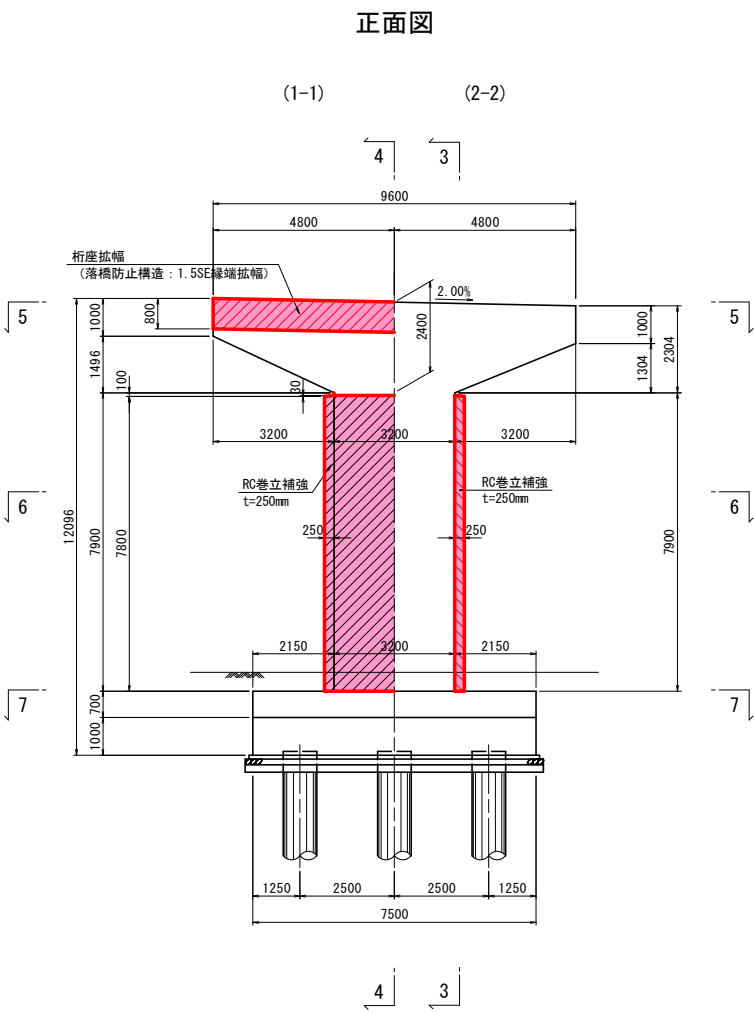
設計条件		路線名	県道寒河本庄岡山線
架橋位置		岡山市東区金岡東町二丁目地内	
橋梁名		金岡高架橋	
橋の種別	道路規格		
	設計速度		
	橋長	L=263.000m (道路中心線上)	
	桁長	20.960m + 5x18.960m + 7x20.960m (道路中心線上)	
	支間長	20.360m + 5x18.360m + 7x20.360m (道路中心線上)	
	全幅員	9.930m	
	有効幅員	9.000m	
	上部工	13径間プレテンション方式PC単純T桁橋	
		橋台：逆T式橋台 橋脚：矩形柱張出し式橋脚	
	基礎工	橋台：場所打ち杭基礎φ1000 橋脚：場所打ち杭基礎φ800	
		橋軸方向：固定、可動 橋軸直角方向：固定	
線形条件	縦断勾配	0.9471%直線上り勾配～5.00%直線上り勾配 (バーチカルカーブ内)	
		横断勾配 4.00%直線片勾配	
		斜角 90° 00' 00"	
		平面線形 R=500m～A=160m	
	重要度の区分	B種の橋 (第二次緊急輸送道路)	
		地域区分 B2地域 (Gz=0.85, Iz=1.0, IIz=0.85)	
	地震設計条件	地盤種別 II種地盤	
		桁かかり長：各下部工にて確保 落橋防止構造：1.5SE桁座拡幅 横変位拘束構造：設置していない (省略規定に該当)	
施工条件	支承補強構造		吊足場
	落橋防止構造		吊足場
	橋脚柱補強		オープン掘削
	点検方法		桁下からの目視 (必要に応じて梯子設置)
維持管理条件	上部工留意事項		床版間詰め、桁端部漏水等の確認
	下部工留意事項		橋座面の排水状況
	付属物留意事項		支承の変状、伸縮継手の漏水等
	適用示方書		道路橋示方書 同解説 I～V (平成29年11月、平成24年3月) 国総研資料 第700号

今回施工

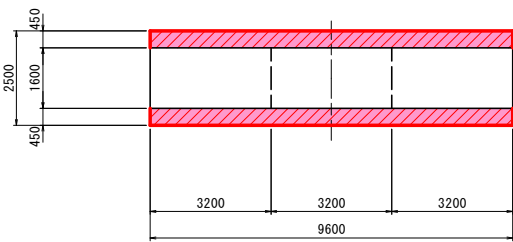
工事名	県道寒河本庄岡山線 (金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事 (7-1)		
図面名	金岡高架橋 耐震補強一般図 (その2)		
作成年月日			
縮尺	1:200	図面番号	2 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

P3橋脚 補強構造一般図

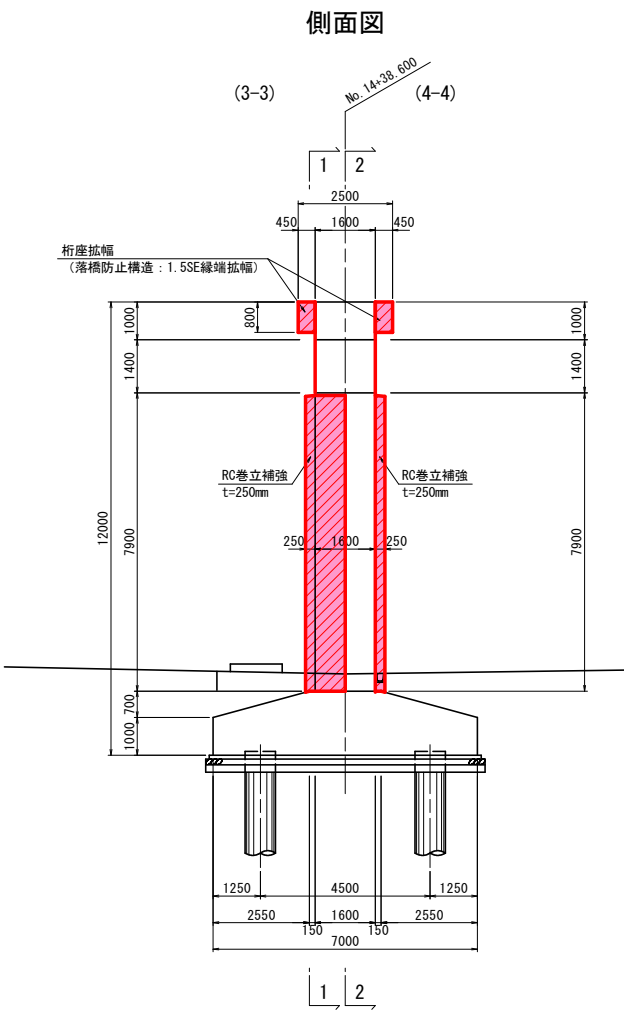
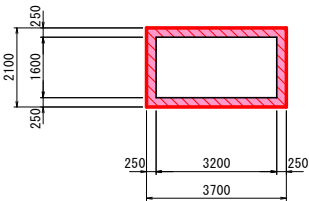
S=1:100



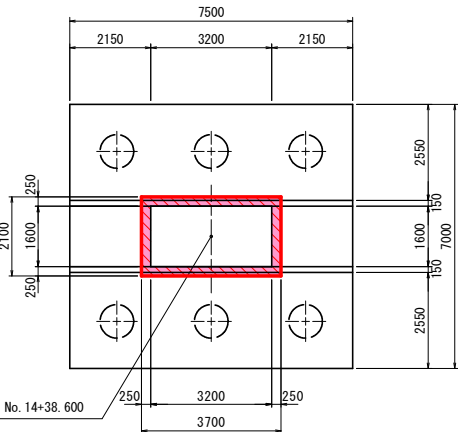
橋座平面図 (5-5)



柱断面図 (6-6)



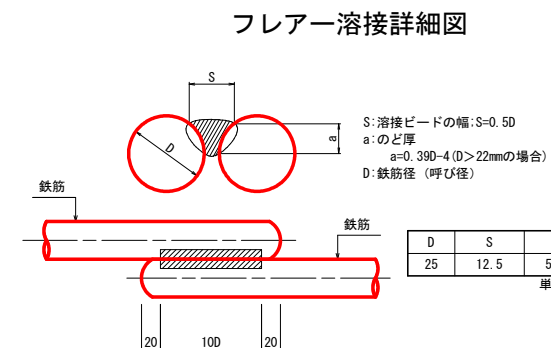
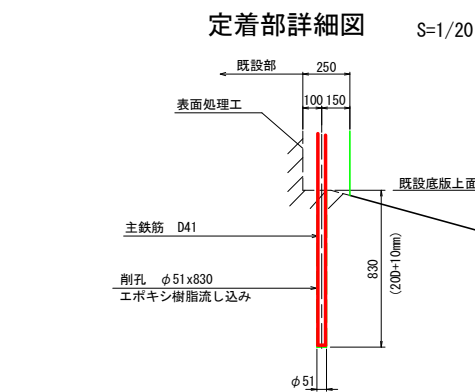
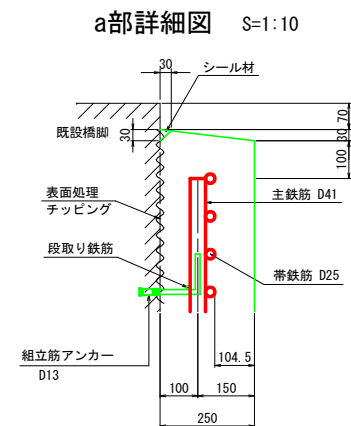
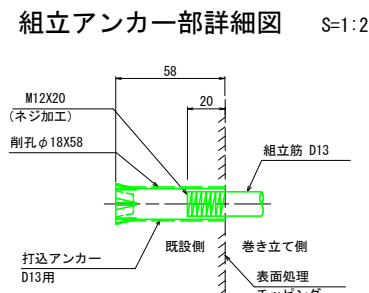
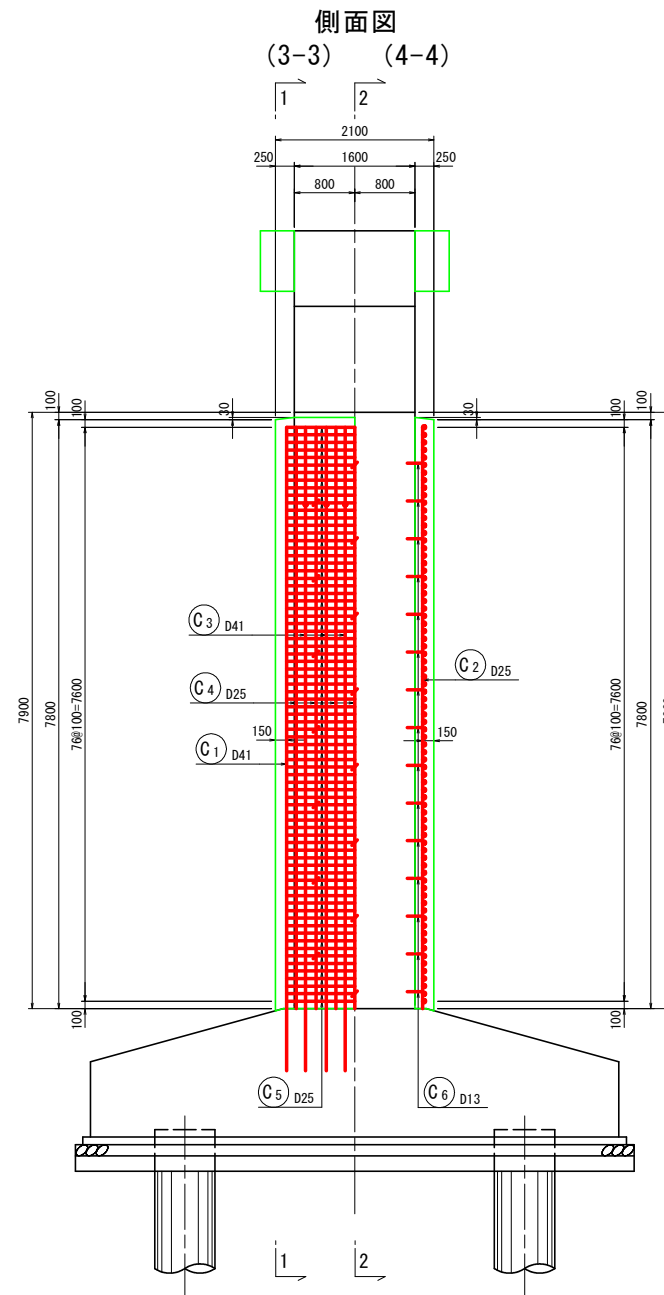
柱基部断面図 (7-7)



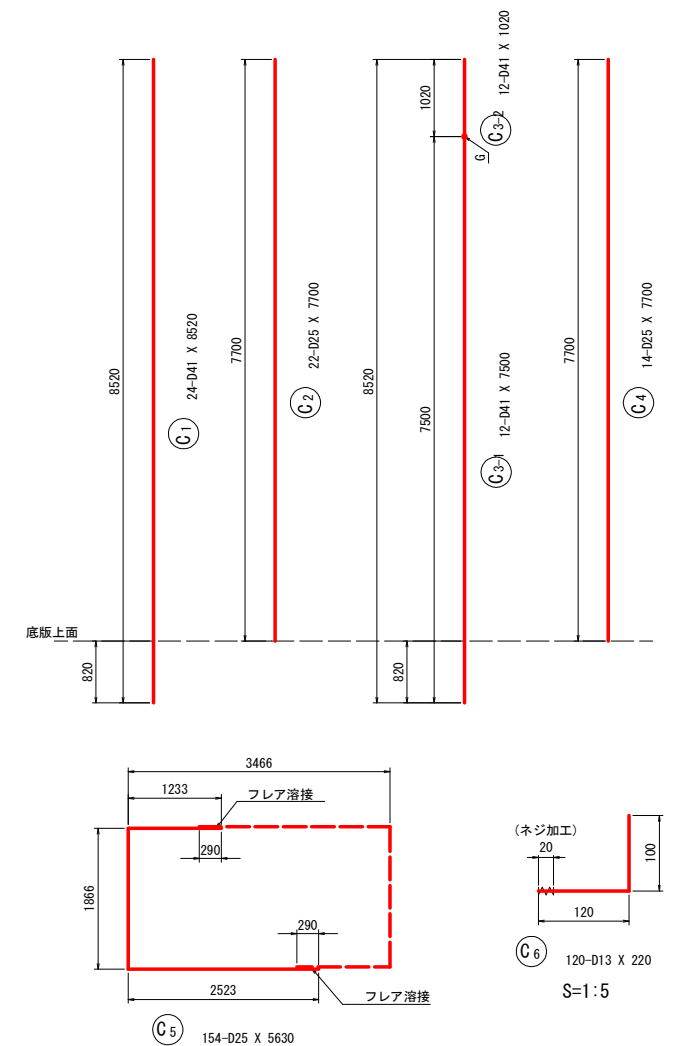
使用材料 (設計条件)			
	名 称	規 格	摘 要
補強工	桁 座 拡 幅	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$	
	柱	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$	
	鉄 筋	SD345	

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋)		
図面名	P3橋脚 補強構造一般図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	3 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

S=1 : 50



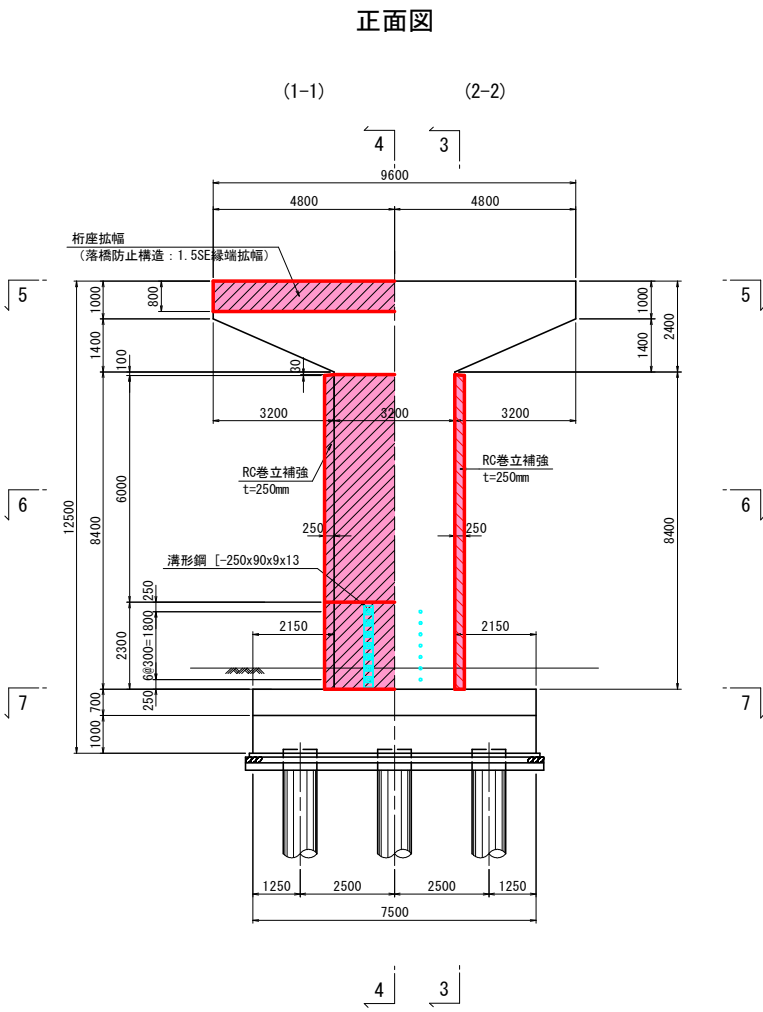
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質　量 (kg)	摘　要
C 1	D41	8520	24	10.5	89.46	2147	
C 2	D25	7700	22	3.98	30.65	674	
C 3-1	D41	7500	12	10.5	78.75	945	(12)
C 3-2	D41	1020	12	10.5	10.71	129	
C 4	D25	7700	14	3.98	30.65	429	
C 5	D25	5630	154	3.98	22.41	3451	└─┘
C 6	D13	220	120	0.995	0.22	26	┐
7801 kg							
(圧接箇所)							
合　計		D41		3221 kg	( 12)		
		D25		4554 kg			
		D13		26 kg			
総質量				7801 kg	( 12)		



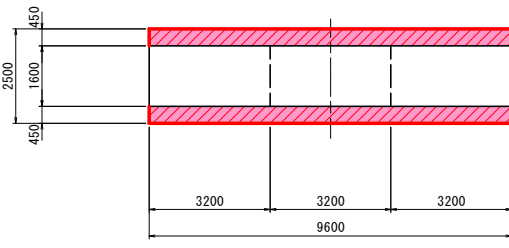
工事名	県道寒水本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	P3橋脚 柱補強配筋図		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	4 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

P2橋脚 補強構造一般図

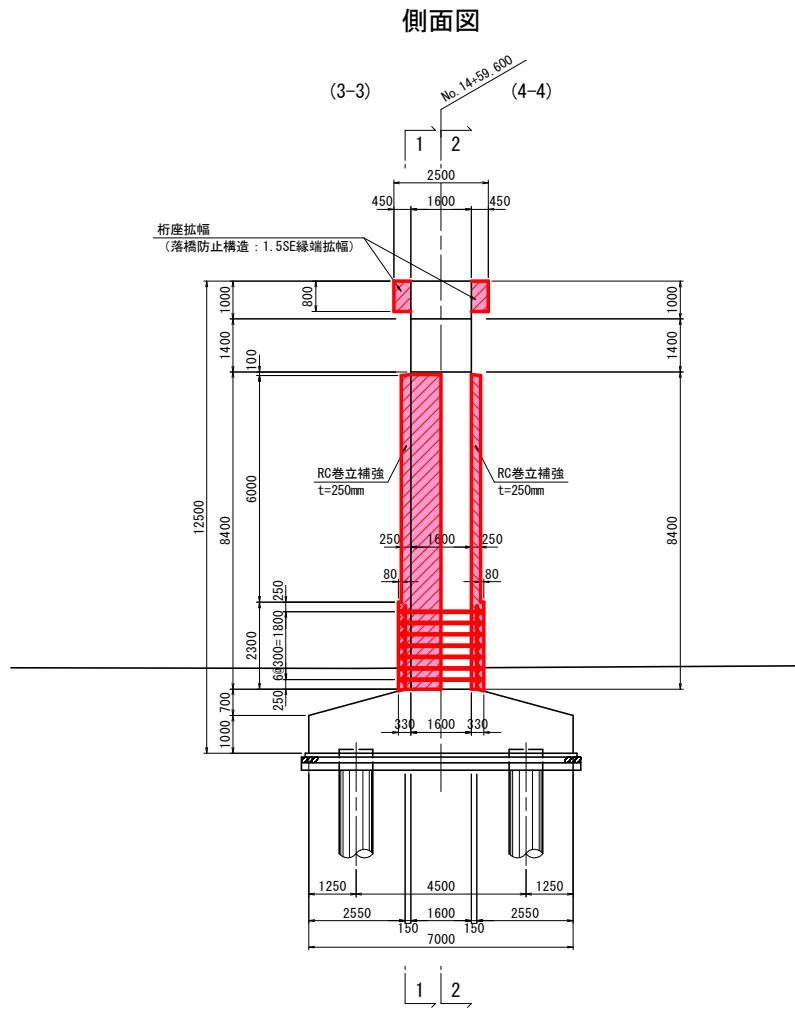
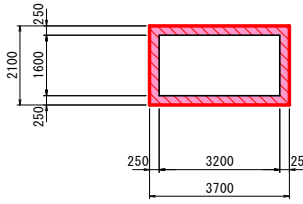
S=1:100



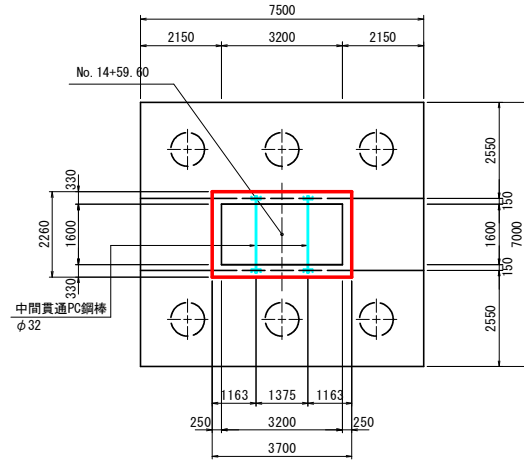
橋座平面図 (5-5)



柱断面図 (6-6)



柱基部断面図 (7-7)

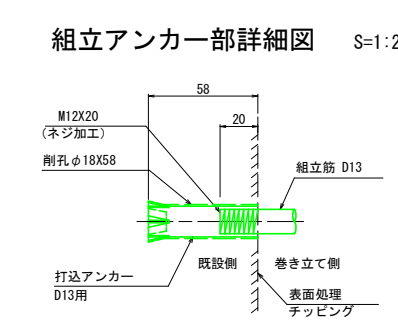
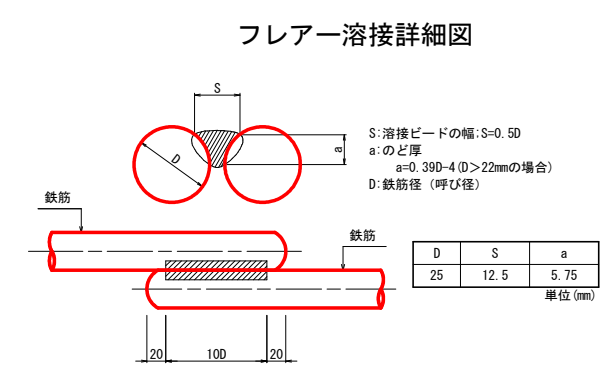
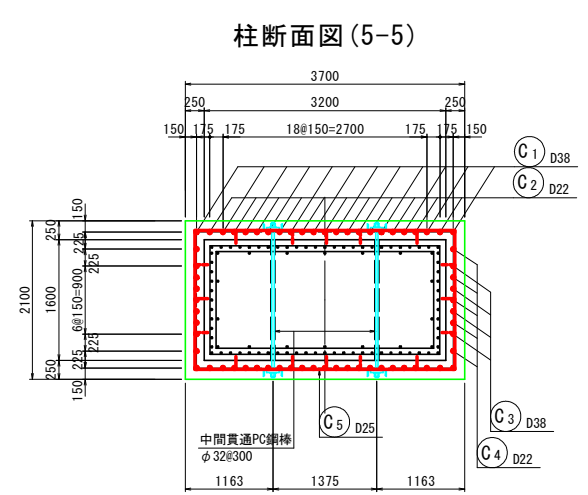
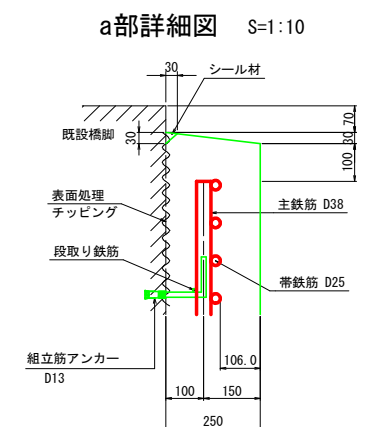
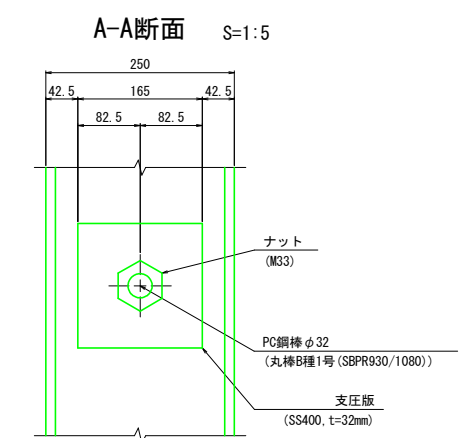
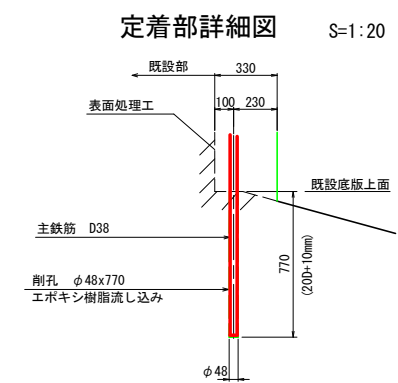
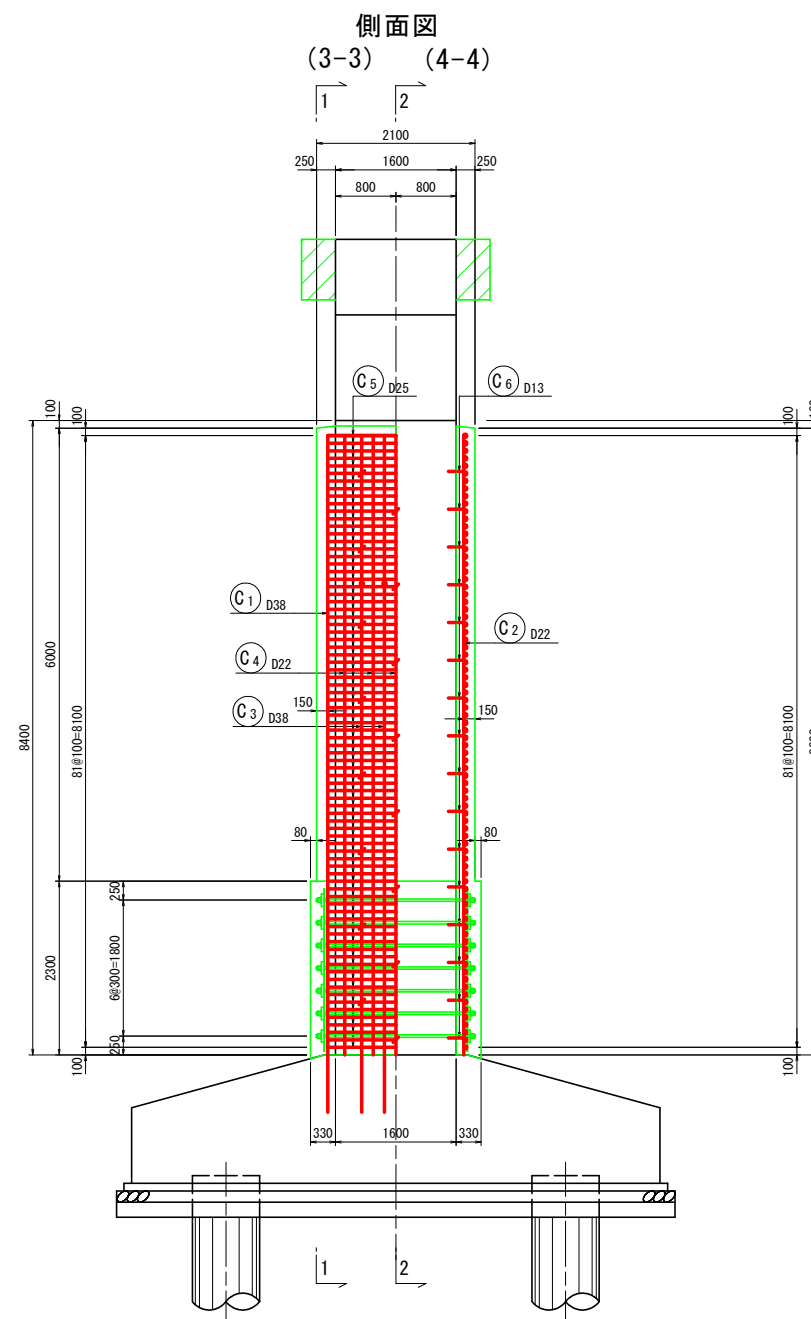
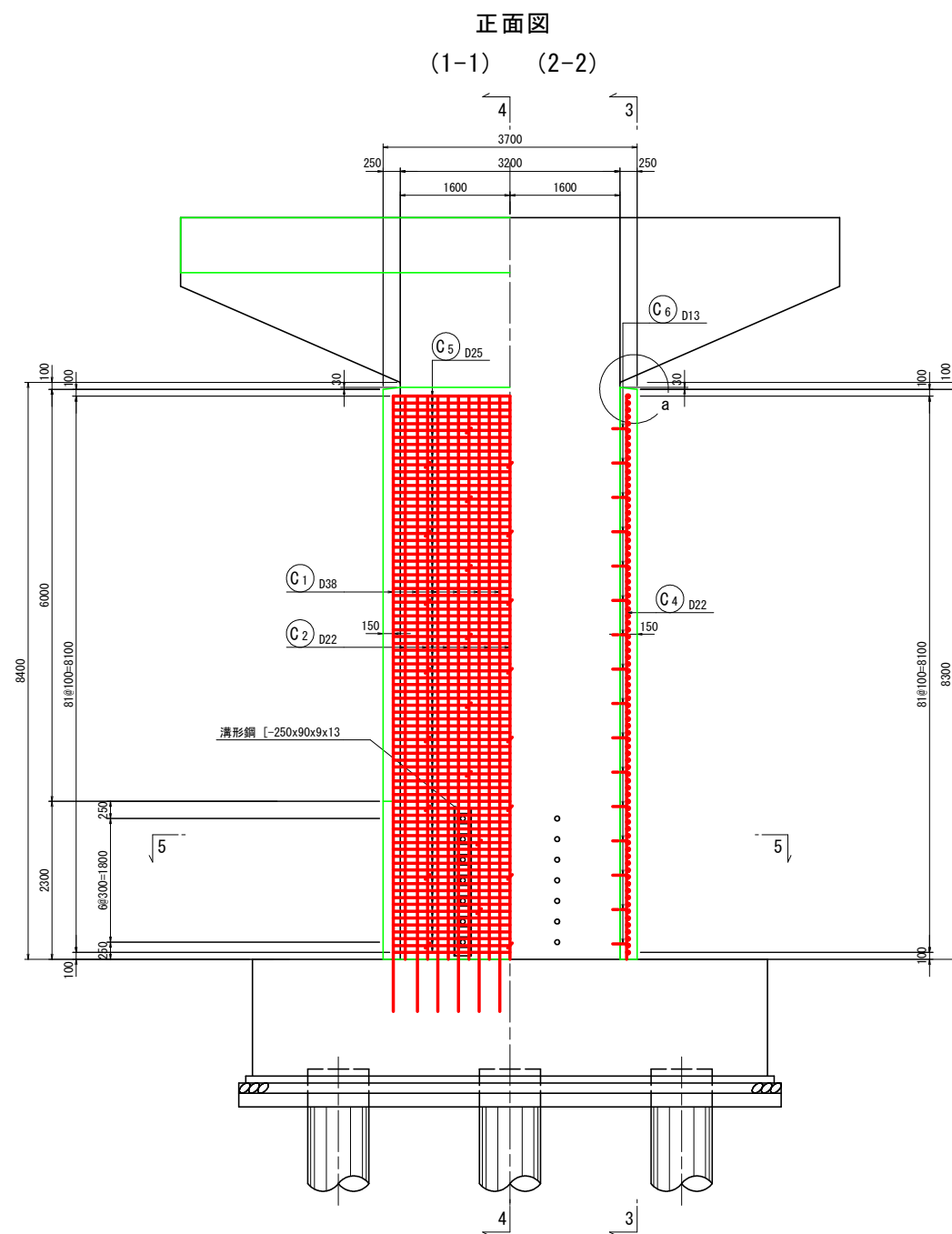


使用材料 (設計条件)			
	名 称	規 格	摘 要
補強工	桁 座 拡 幅	$\sigma_{ck}=24\text{ N/mm}^2$	
	柱	$\sigma_{ck}=24\text{ N/mm}^2$	
	鉄 筋	SD345	

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋)		
図面名	P2橋脚 補強構造一般図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	5 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		



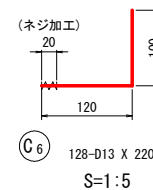
P2橋脚 柱補強配筋図(その1) S=1:50



工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	P2橋脚 柱補強配筋図(その1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	6 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

S=1:50

S=1:10



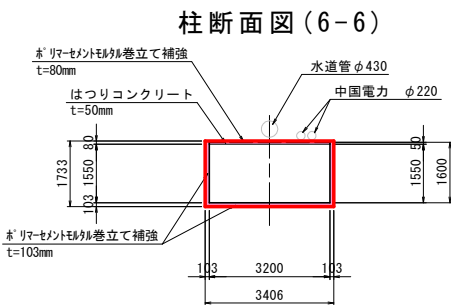
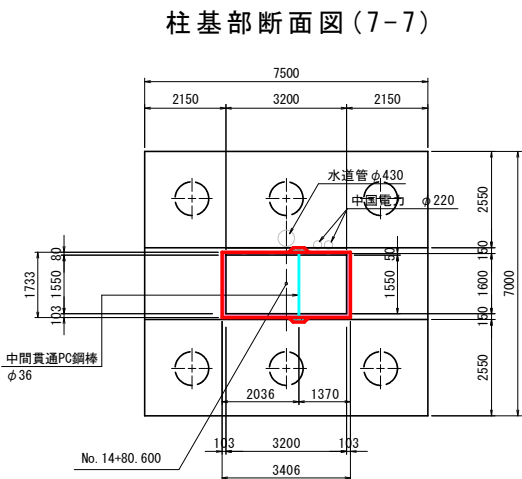
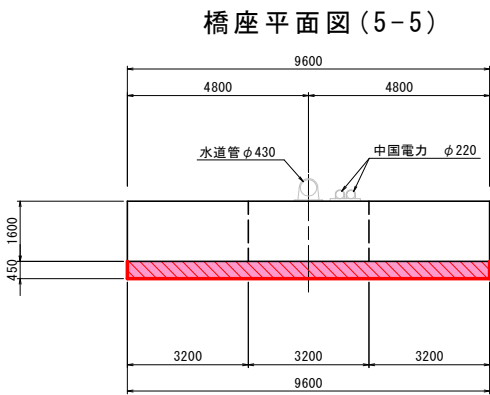
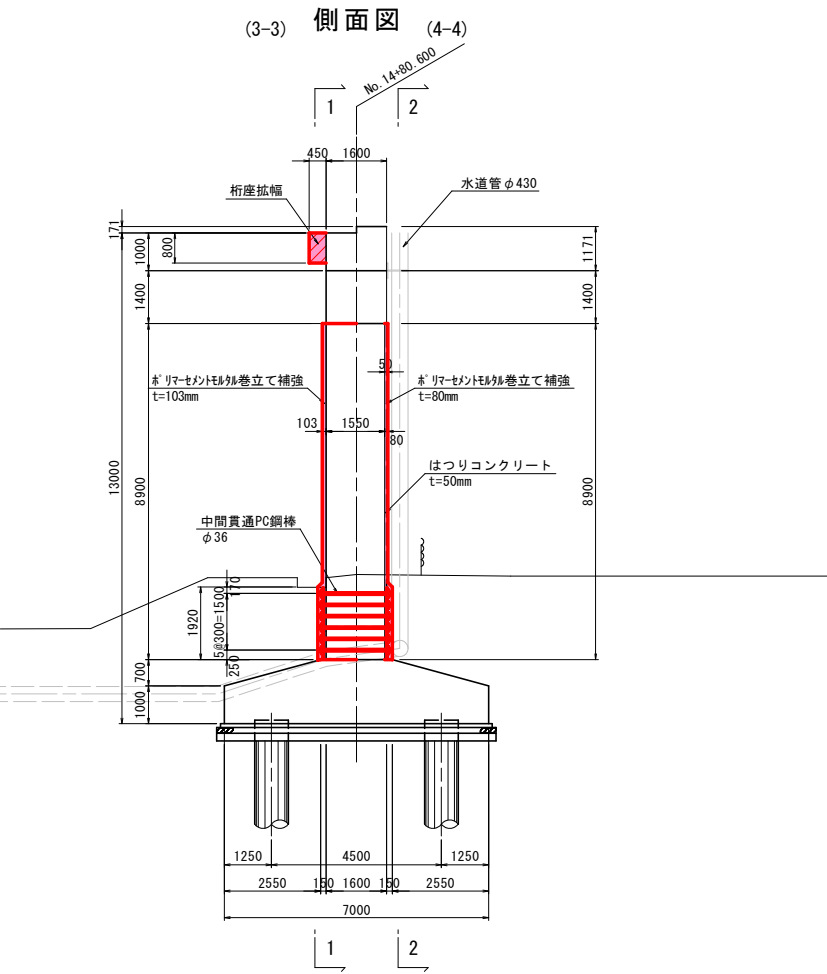
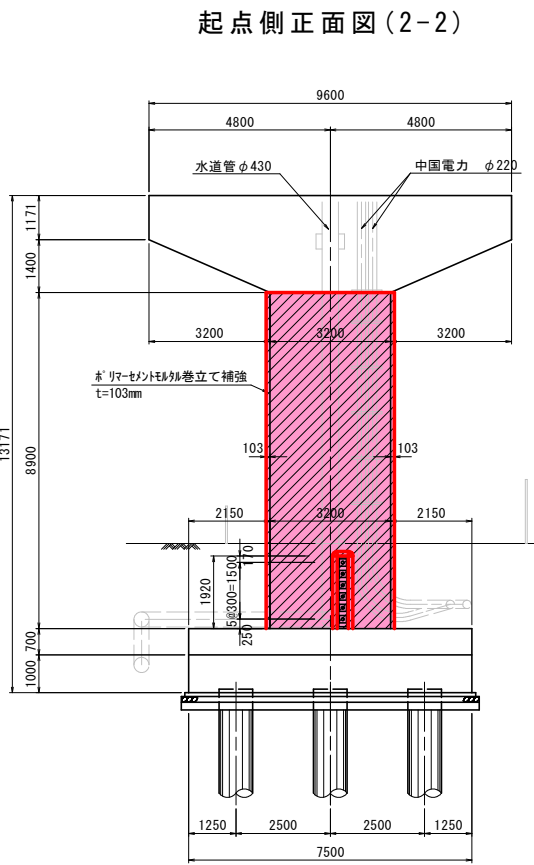
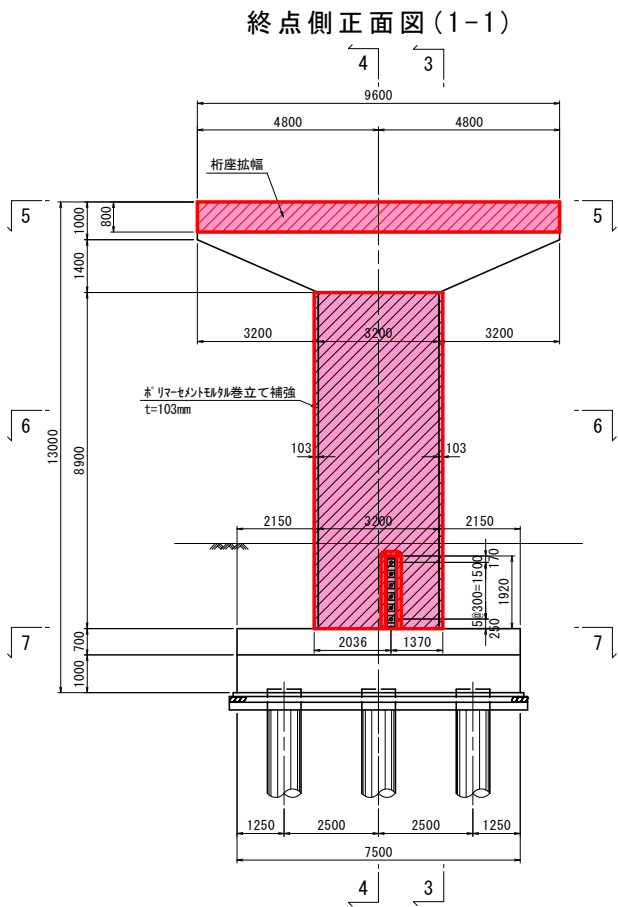
名 称	寸 法	長 さ (mm)	単位重量 (kg/m)	数 量 (枚、本)	全体重量 (kg)	摘 要
溝形鋼	[-250x90x9x13	2150	34.6	4	298	(SS400)
PC鋼棒	φ32	2101	6.31	14	186	
ナット	M33		0.815	28	23	
座金	φ32用		0.111	28	3	
支圧板	PL-165x165x32		6.84	28	192	(SS400)
総重量					702 kg	
種別集計						
溝形鋼	[-250x90x9x13 (SS400)				298 kg	
PC鋼棒	φ32				186 kg	
ナット	M33				23 kg	
座金	φ32用				3 kg	
支圧板	PL-165x165x32 (SS400)				192 kg	

1. アンカー鉄筋の埋込み長は、既設橋脚に鉄筋径の20倍とする。
2. 帯鉄筋の継手及びフレア溶接により接続し、継手位置を千鳥配置にする。
3. 現地再計測及び鉄筋探索のうえ施工を行う。
4. PC鋼材は、ストレスの導入は行わない。
5. PC鋼材設置時に既設柱鉛直鉄筋を切断しても構造上問題無いが、極力切断しないように施工する。

種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
C 1	D38	8960	24	8.95	80.19	1925	
C 2	D22	8200	22	3.04	24.93	548	
C 3-1	D38	7000	8	8.95	62.65	501	(8)
C 3-2	D38	1960	8	8.95	17.54	140	
C 4	D22	8200	10	3.04	24.93	249	
C 5	D25	5620	164	3.98	22.37	3669	└┐
C 6	D13	220	128	0.995	0.22	28	└┐
7060 kg							
(圧接箇所)							
合 計	D38			2566 kg	( 8)		
	D25			3669 kg			
	D22			797 kg			
	D13			28 kg			
総質量				7060 kg	( 8)		

工事名	県道栗河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	P2橋脚 柱補強配筋図(その2)		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	7 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

P1橋脚 補強構造一般図(その1) S=1:100



使用材料 (設計条件)			
名称	規格	摘要	
桁座 拡 幅	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	8' リアメントモルタル巻立て補強	
柱	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$		
鉄 筋	SD345		

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋)		
図面名	P1橋脚 補強構造一般図(その1)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	8 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		





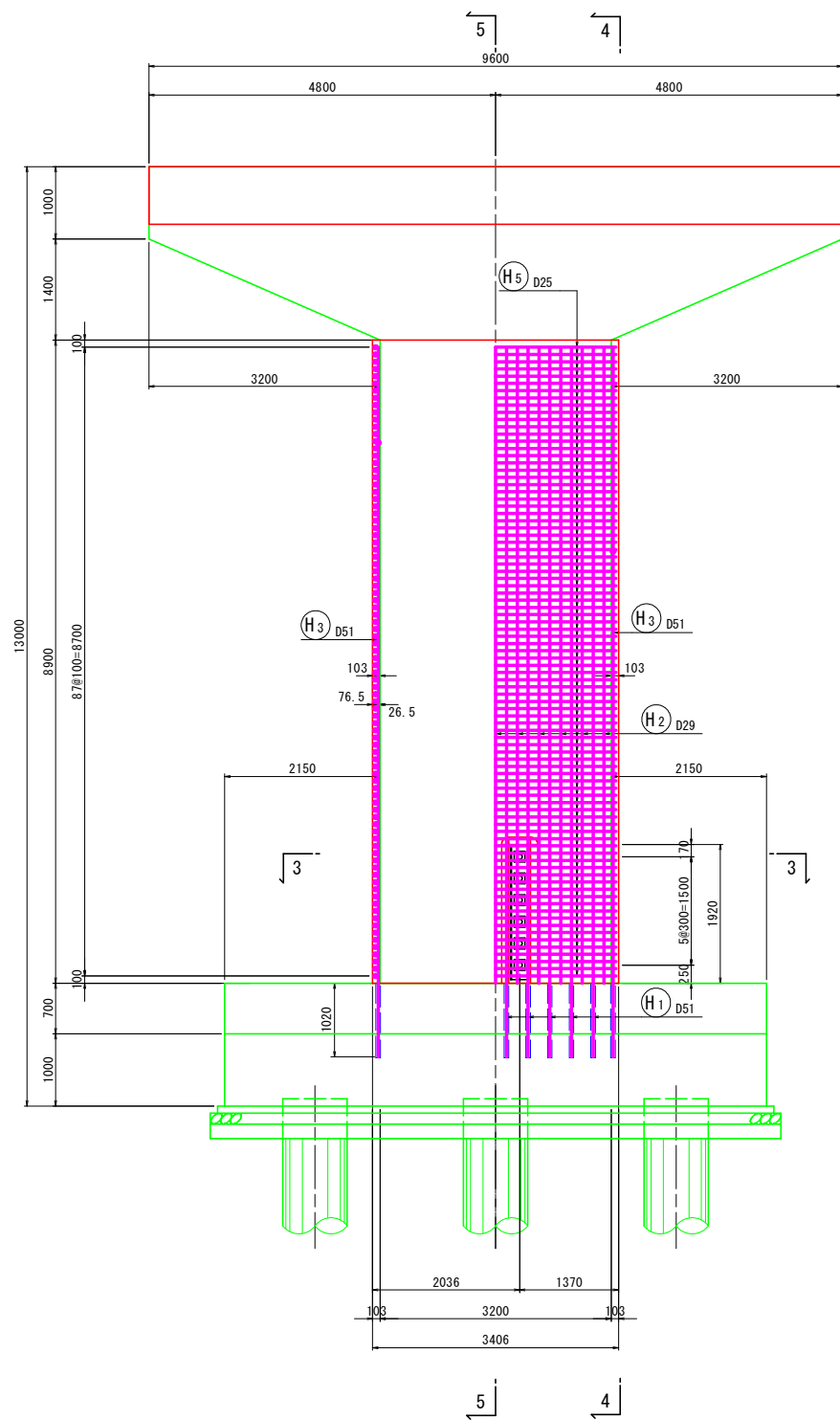
## P1橋脚 柱補強配筋図(その1)

S=1:50

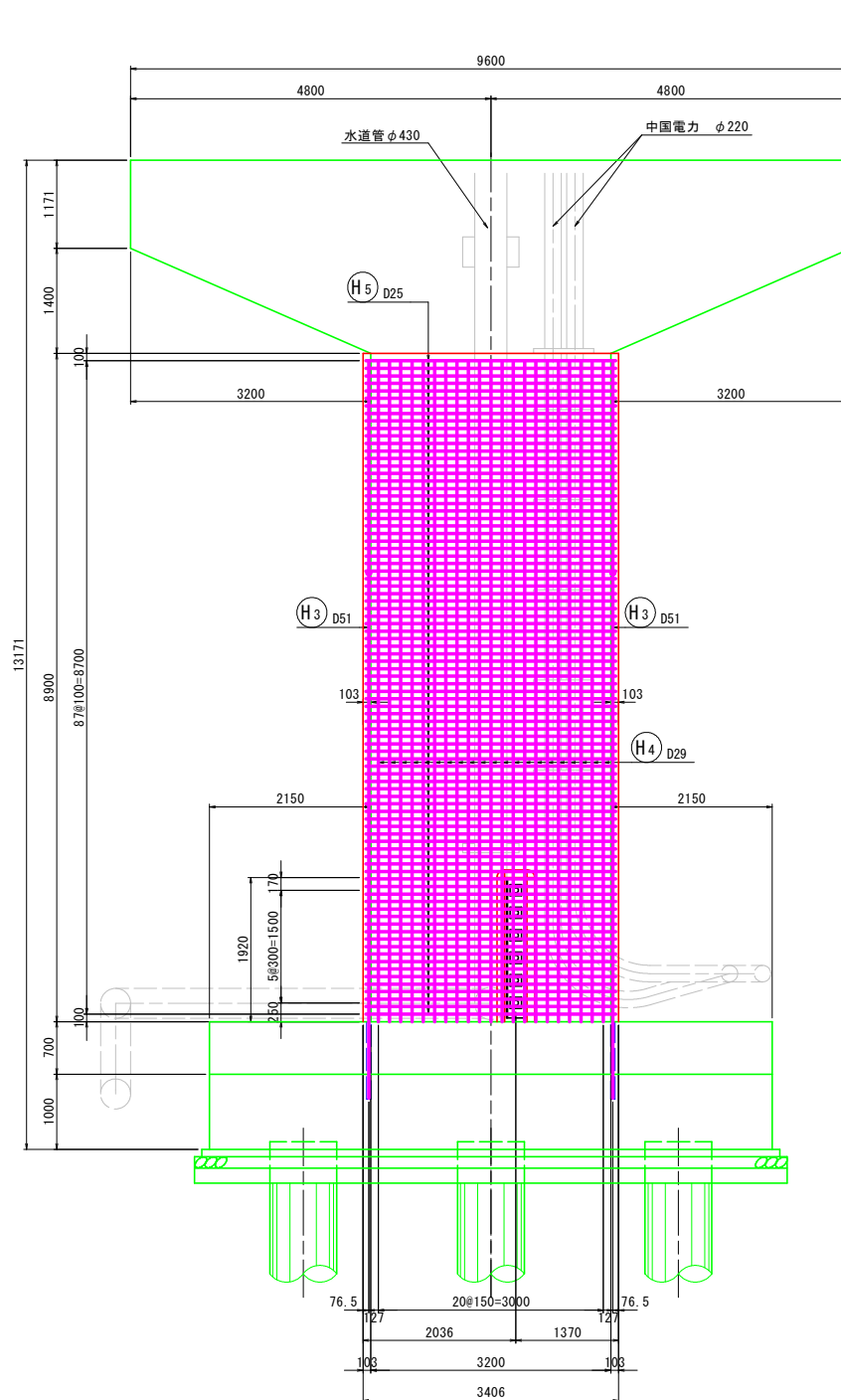
終点側正面図

(1'-1')

(1-1)

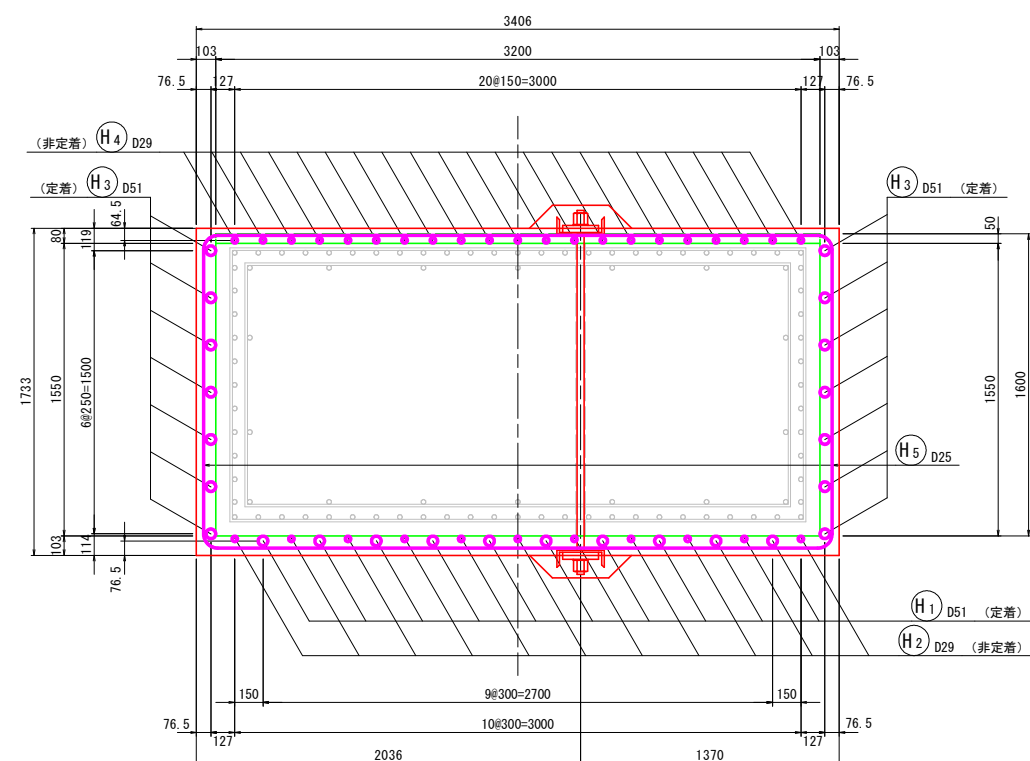


起点側正面図(2-2)



柱断面図(3-3)

S=1:20

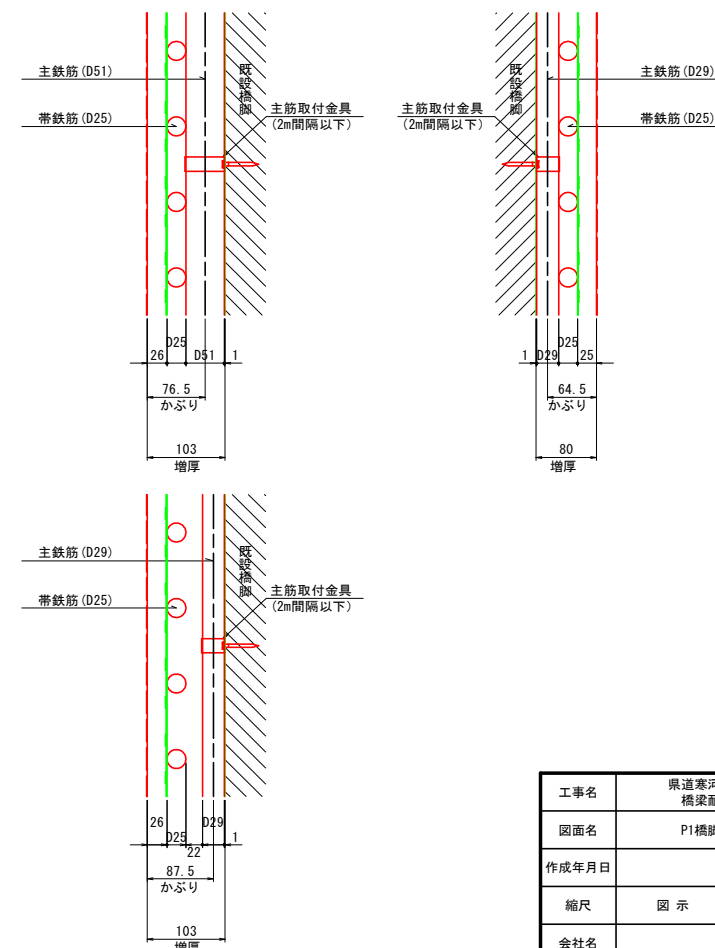


かぶり詳細図

S=1:5

&lt;t=103mm&gt;

&lt;t=80mm&gt;



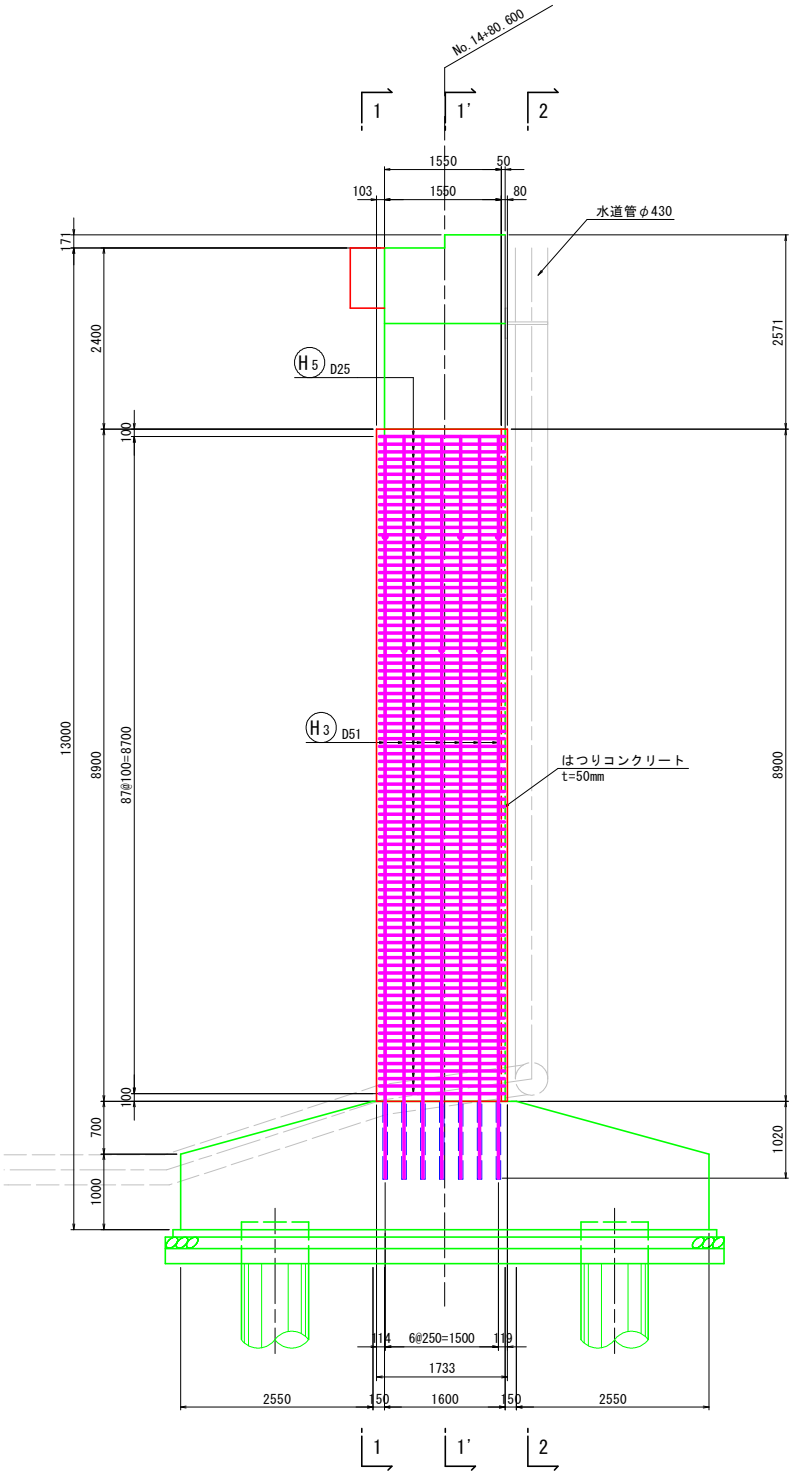
## 注記

- 施工に当たっては現地計測を行い、寸法の確認を行うこと。
- 既設構造物との接触面は適切な下地処理を行うものとする。
- アンカー筋削孔時には、既設鉄筋を確認し避けること。
- 主鉄筋は既設コンクリート面に金具を用いて固定すること。
- 圧接継手部断面は鉄筋径より大きくなる為、圧接部のコンクリートを部分的にはつり取り、鉄筋のうきが起らないようにすること。
- 帯鉄筋の継ぎ手はフレア溶接とし、継ぎ手位置は千鳥配置とすること。
- 「PAE系ポリマーセメントモルタルを用いたコンクリート構造物の補修・補強に関する設計・施工マニュアル(案)」に規定されている材料及び施工方法と同等品以上とすること。
- PC鋼材は、ストレスの導入は行わない。
- PC鋼材設置時に既設柱鉛直鉄筋を切断しても構造上問題無いが、極力切断しないように施工すること。
- PC鋼棒の製作は定着間を実測確認のうえ行うこと。

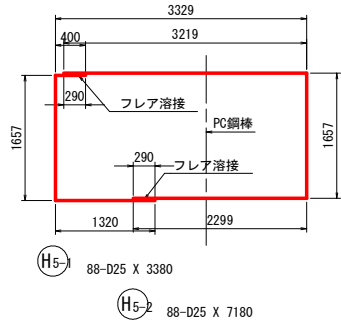
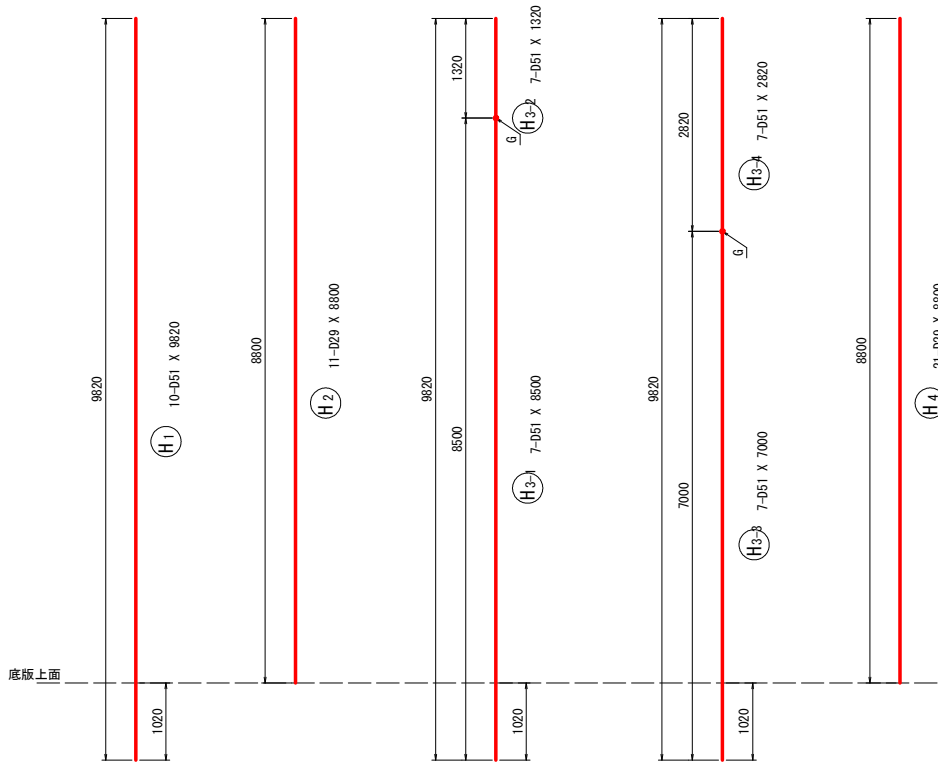
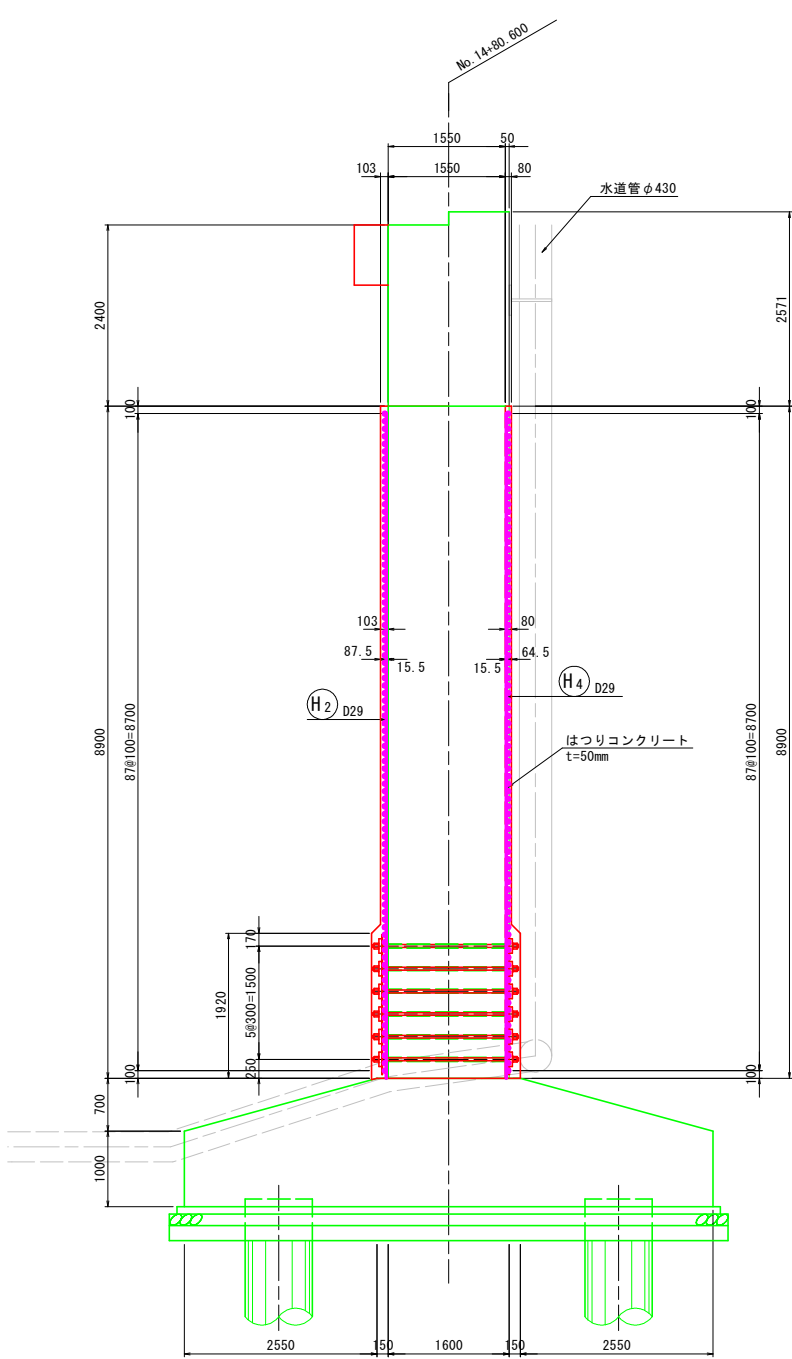
工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	P1橋脚 柱補強配筋図(その1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	10 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

P1橋脚 柱補強配筋図(その2) S=1:50

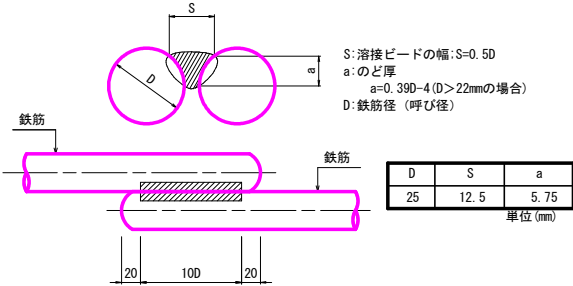
側面図(4-4)



断面図(5-5)



フレア溶接詳細図



鉄筋質量表 (SD345)

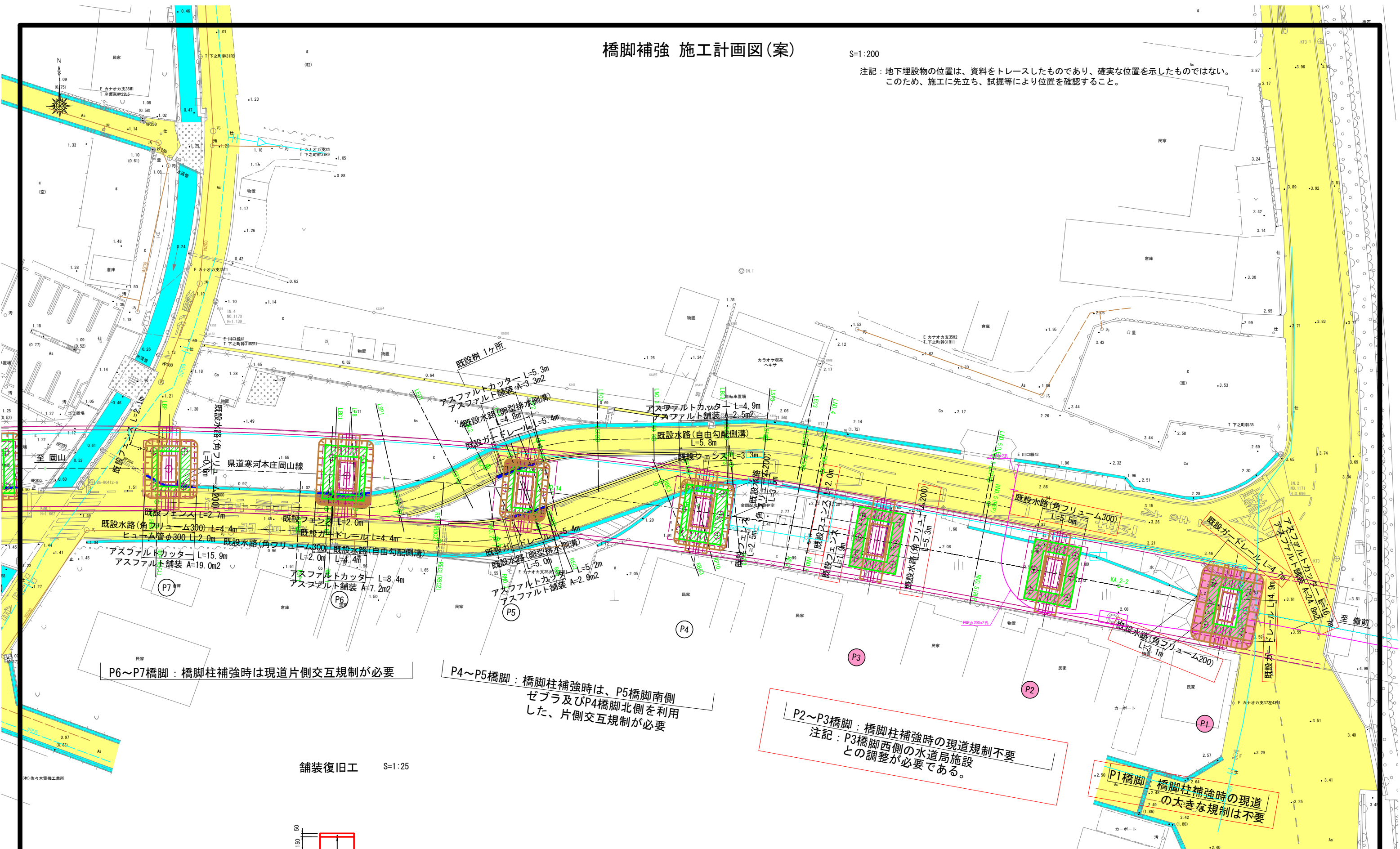
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
H 1	D51	9820	10	15.9	156.14	1561	
H 2	D29	8800	11	5.04	44.35	488	
H 3-1	D51	8500	7	15.9	135.15	946	(7) D51+D5
H 3-2	D51	1320	7	15.9	20.99	147	
H 3-3	D51	7000	7	15.9	111.30	779	(7) D51+D5
H 3-4	D51	2820	7	15.9	44.84	314	
H 4	D29	8800	21	5.04	44.35	931	
H 5-1	D25	3380	88	3.98	13.45	1184	
H 5-2	D25	7180	88	3.98	28.58	2515	
8865 kg							
(圧接箇所) (フレア溶接)							
合計 D51 3747 kg (14) D51+D51							
D29 1419 kg							
D25 3699 kg (176)							
総質量 8865 kg (14) (176)							

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋)		
図面名	P1橋脚 柱補強配筋図(その2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	11 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

橋脚補強 施工計画図(案)

S=1:200

注記：地下埋設物の位置は、資料をトレースしたものであり、確実な位置を示したものではありません。  
このため、施工に先立ち、試掘等により位置を確認すること。



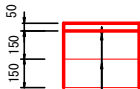
P6～P7橋脚：橋脚柱補強時は現道片側交互規制が必要

P4～P5橋脚：橋脚柱補強時は、P5橋脚南側  
ゼブラ及びP4橋脚北側を利用  
した、片側交互規制が必要

P2～P3橋脚：橋脚柱補強時の現道規制不要  
注記：P3橋脚西側の水道局施設  
との調整が必要である。

P1橋脚：橋脚柱補強時の現道  
の大きな規制は不要

舗装復旧工 S=1:25



車道舗装
表 層 (密粒度As (20)) t=5cm
上層路盤 (M-40) t=15cm
下層路盤 (RC-40) t=15cm

凡 例	
	水道
	電気
	下水

今回施工

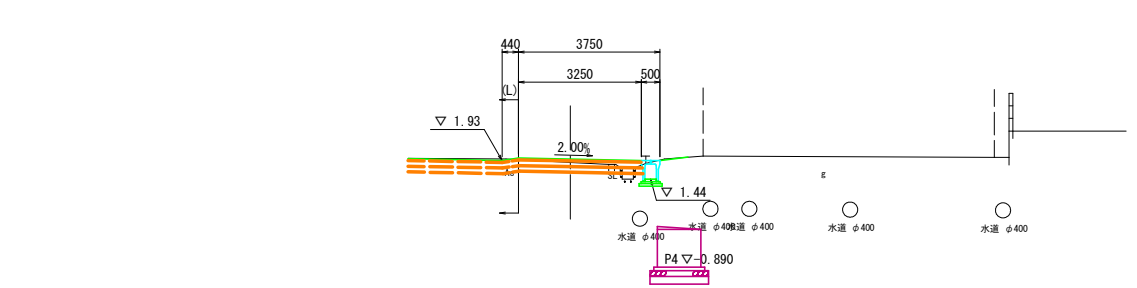
注記：起点側現況地形は、「地理院地図」をトレースしたものである。

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事 (7-1)		
図面名	橋脚補強 施工計画図(案)		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	12 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

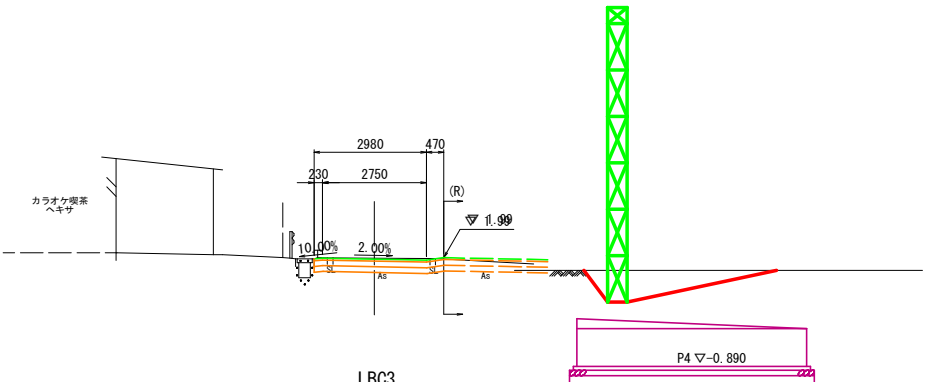


橋脚補強 施工計画図(案)(その2) S=1:100

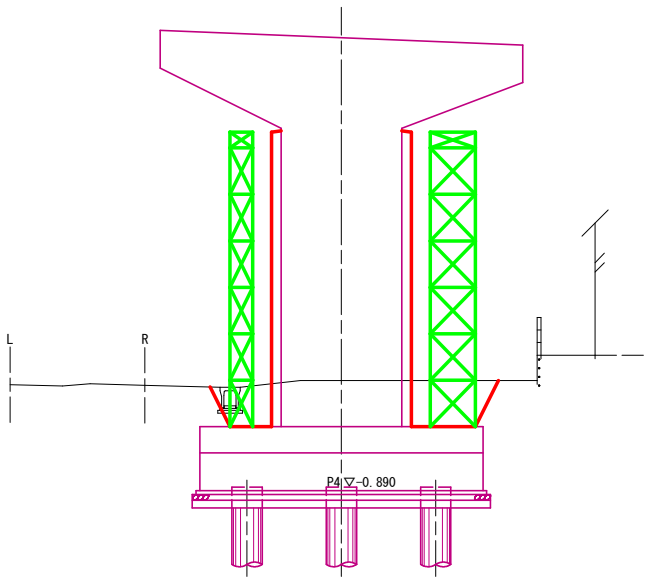
注記：地下埋設物の位置は、資料をトレースしたものであり、確実な位置を示したものではありません。  
このため、施工に先立ち、試掘等により位置を確認すること。



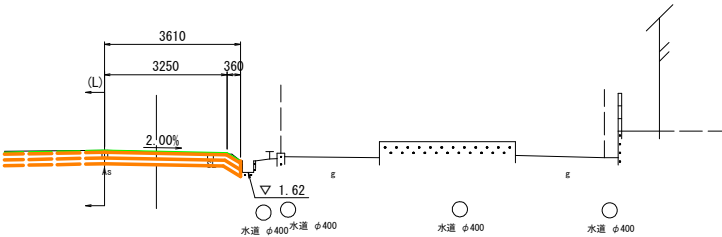
DL=-5.00 RSP3 GH=1.88 FH=1.97



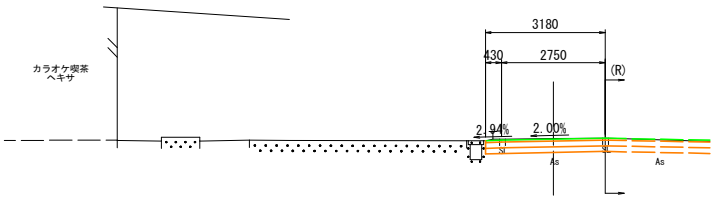
DL=-5.00 LBC3 GH=1.98 FH=1.95



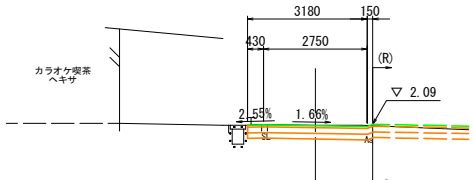
DL=-5.00 P4



DL=-5.00 REC3 GH=2.15 FH=2.17



DL=-5.00 LEC3 GH=2.18 FH=2.16

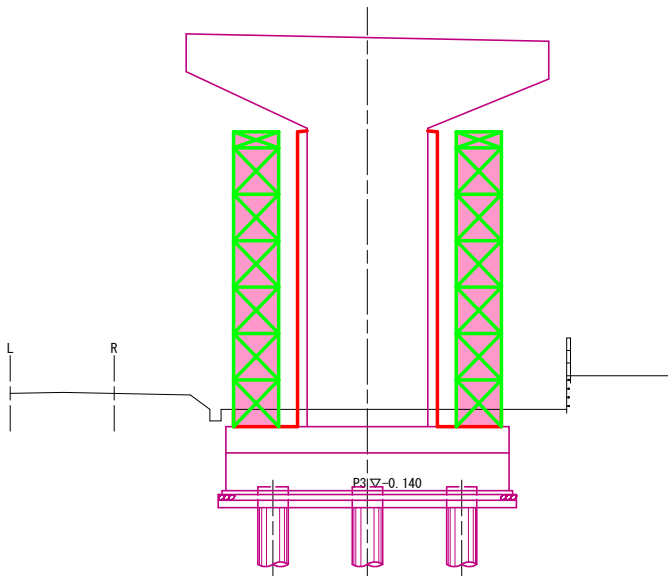


DL=-5.00 LSP3 GH=2.07 FH=2.05

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋)		
図面名	橋梁耐震補強工事(7-1)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	13 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

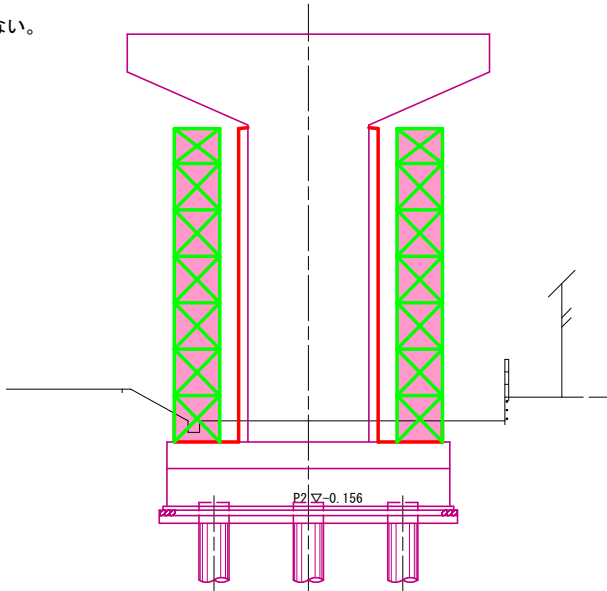
橋脚補強 施工計画図(案)(その3) S=1:100

注記：地下埋設物の位置は、資料をトレースしたものであり、確実な位置を示したものではありません。  
このため、施工に先立ち、試掘等により位置を確認すること。



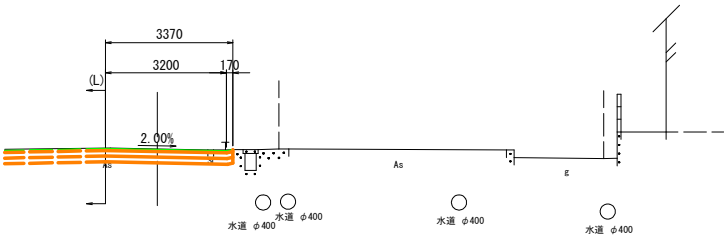
DL=-5.00

P3



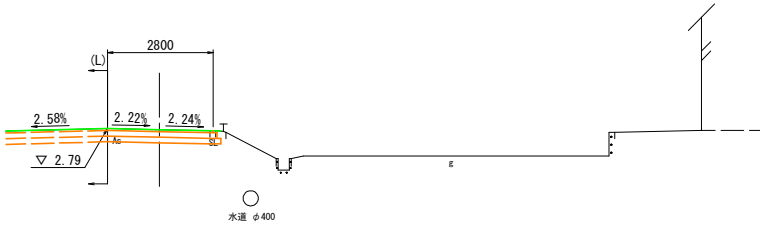
DL=-5.00

P2



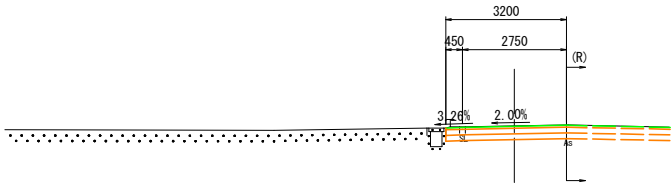
DL=-5.00

RNO. 4



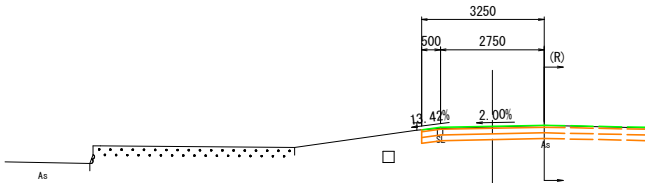
DL=-5.00

RNO. 5



DL=-5.00

LNO. 4



DL=-5.00

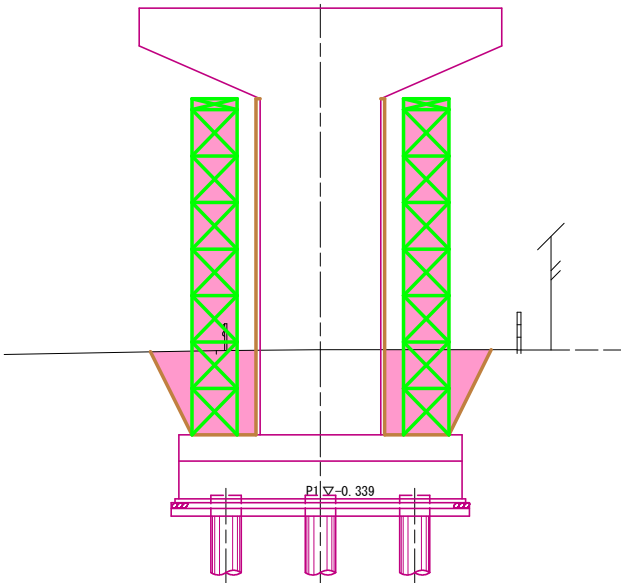
LNO. 5

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋)		
図面名	橋梁耐震補強工事(7-1)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	14 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		



橋脚補強 施工計画図(案) (その4) S=1:100

注記：地下埋設物の位置は、資料をトレースしたものであり、確実な位置を示したものではありません。  
このため、施工に先立ち、試掘等により位置を確認すること。

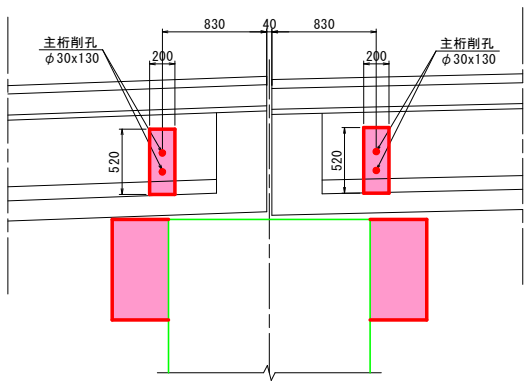


DL=-5.00

P1

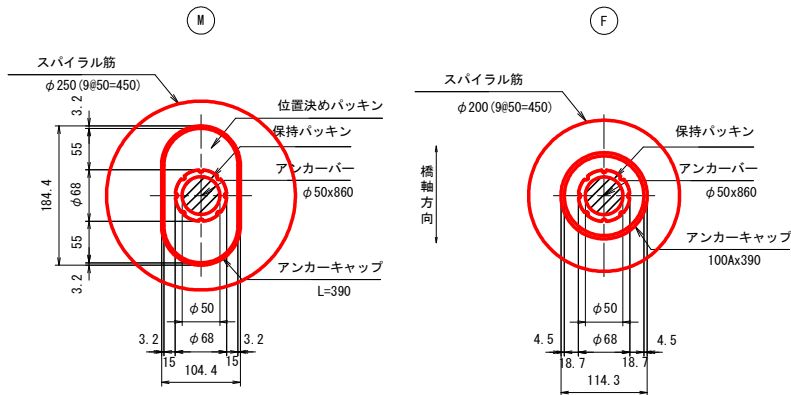
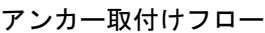
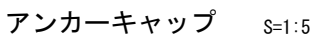
工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	橋脚補強 施工計画図(案)(その4)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	15 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

S=1 : 30

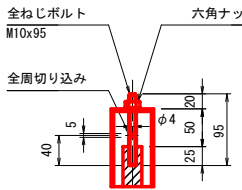
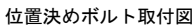


(1基当り)

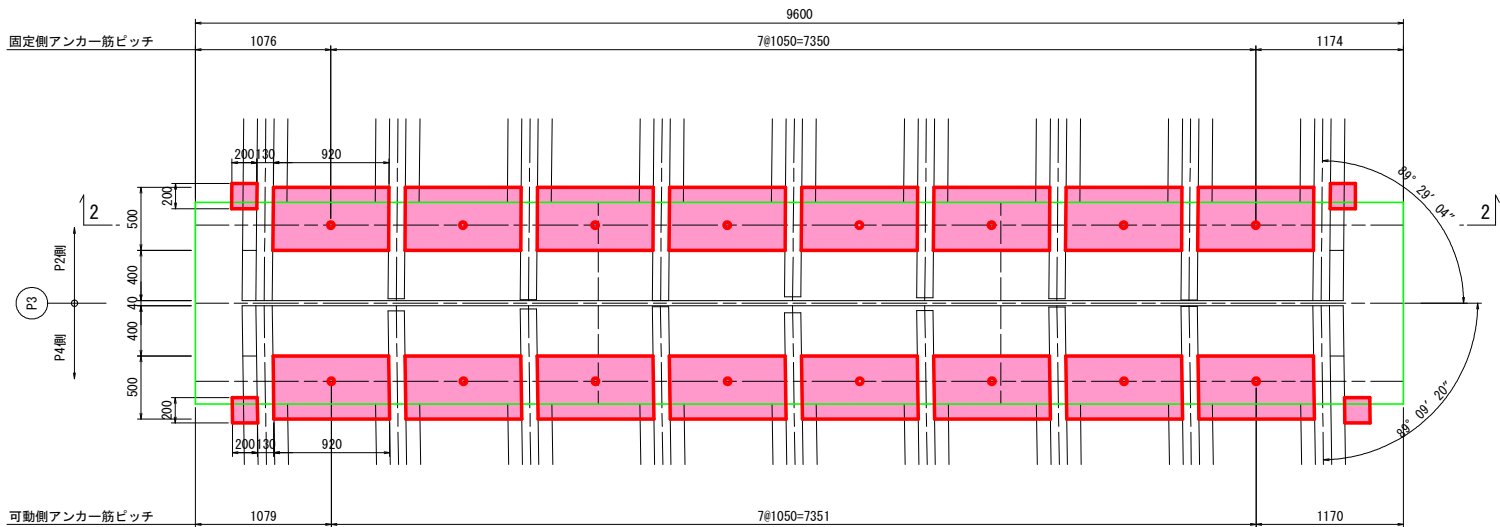
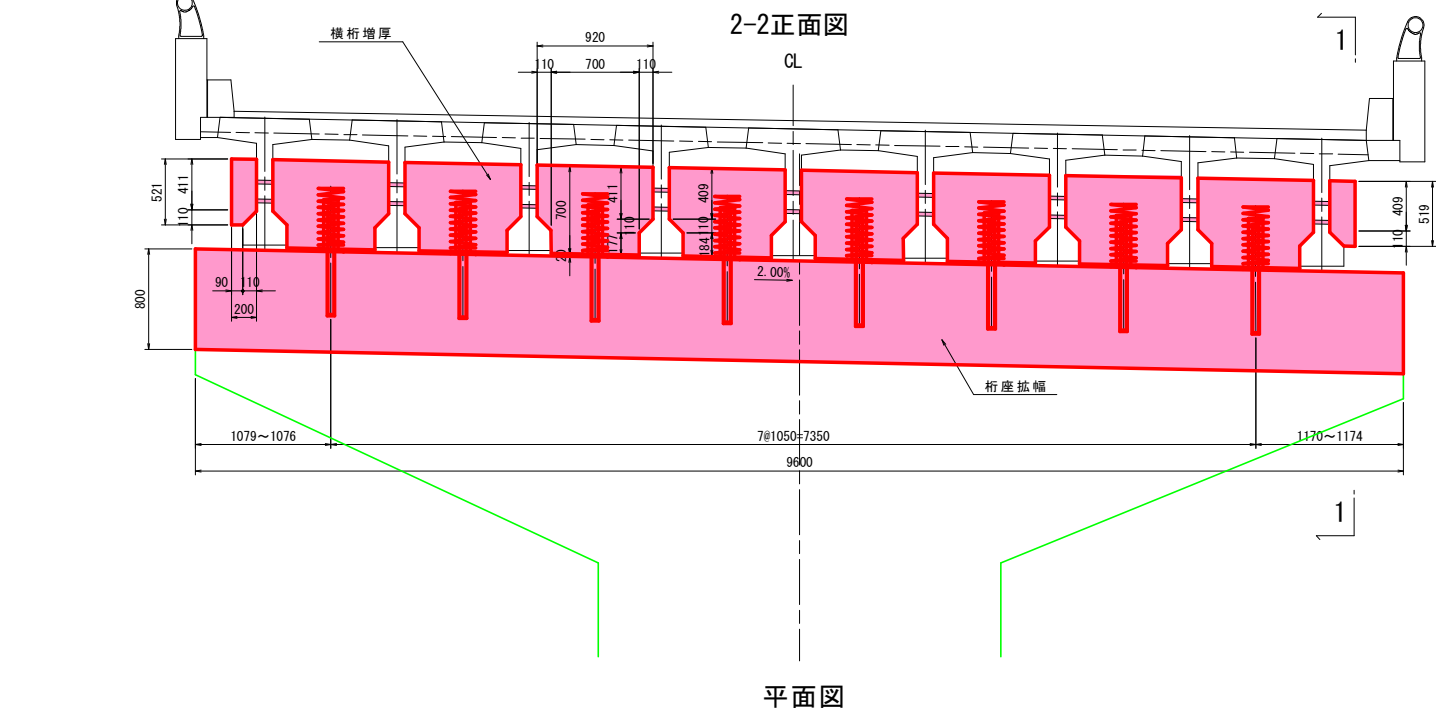
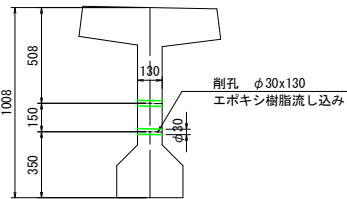
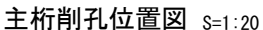
(1基当り)



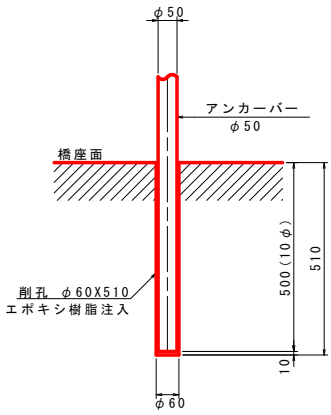
※アンカーバーの防錆はST-SGN12とする。



※ ボルト頭部に位置決め用の  
固定部材を設ける。



支承補強アンカーバー S=1:10



- 注) 1. 本図面は、既設資料および現地計測をもとに作成した図面である。  
2. 施工する際は、既設の計画を行い、施工を行うこと。  
3. 削孔する際は、既設鉄筋を切断しないよう鉄筋探索を行うこと。  
4. 既設コンクリートとの接合部は、下地処理としてセッピングを行うこと。  
5. 鉄筋の埋込み長、定着鉄筋は鉄筋径の15倍、アンカーバーの上部区側は300mm以上かつ鉄筋径の6倍以上とする。下部区側は鉄筋径の10倍とする。  
6. 鉄筋の削孔長さ、定着鉄筋は鉄筋径の15倍(10m、アンカーバーは埋込み長+10mmとする)。  
7. 定着鉄筋、およびアンカーバーの削孔径は、鉄筋径+10mmとする。

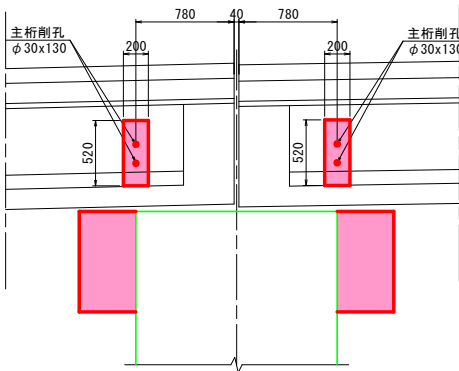
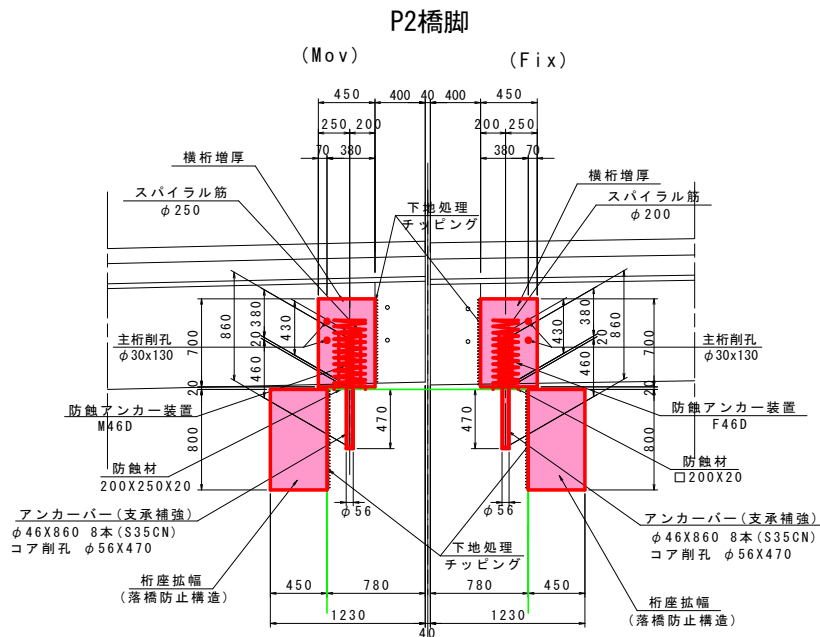
名称	仕様	
	横桁増厚部	桁座拡幅部
設計基準強度	30 N/mm <sup>2</sup>	24 N/mm <sup>2</sup>
鉄筋種別	SD345	
鉄筋定着長	30 φ	35 φ

工事名	県道寒河木庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	支承補強 落橋防止システム構造物(その1)		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	16 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

支承補強 落橋防止システム構造図(その2)  
 (P2橋脚)

S=1:30

1-1断面図



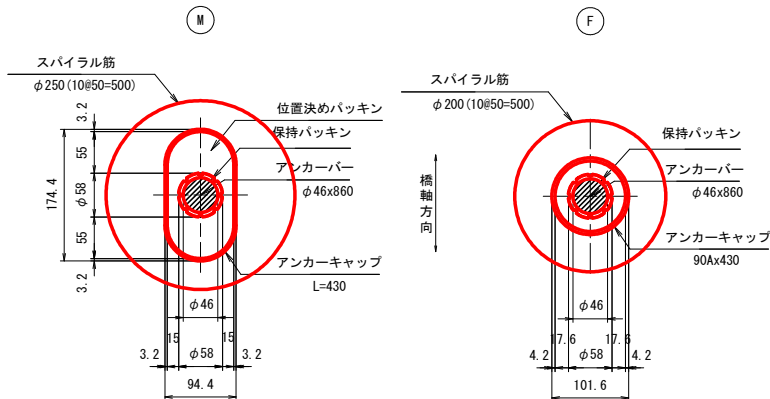
P2橋脚材料表(Mov) (1基当り)

名称	寸法	材質	単位	数量	備考
防蝕アンカー装置	M46D	S35GN S5400 GRスポンジ 合成ゴム SR235	組	8	
防蝕材	200X250X20	RDパッキン	枚	8	
アンカー削孔	φ56X470	コア削孔	箇所	8	

P2橋脚材料表(Fix) (1基当り)

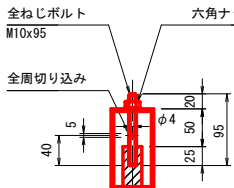
名称	寸法	材質	単位	数量	備考
防蝕アンカー装置	F46D	S35GN SGP GRスポンジ 合成ゴム SR235	組	8	
防蝕材	□200X20	RDパッキン	枚	8	
アンカー削孔	φ56X470	コア削孔	箇所	8	

アンカーキャップ S=1:5



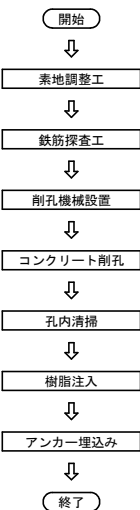
※アンカーバーの防錆はST-SGN12とする。

位置決めボルト取付図

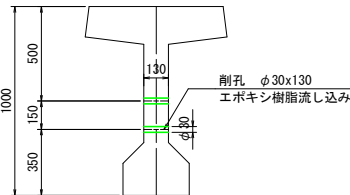


※ボルト頭部に位置決め用の  
固定部材を設ける。

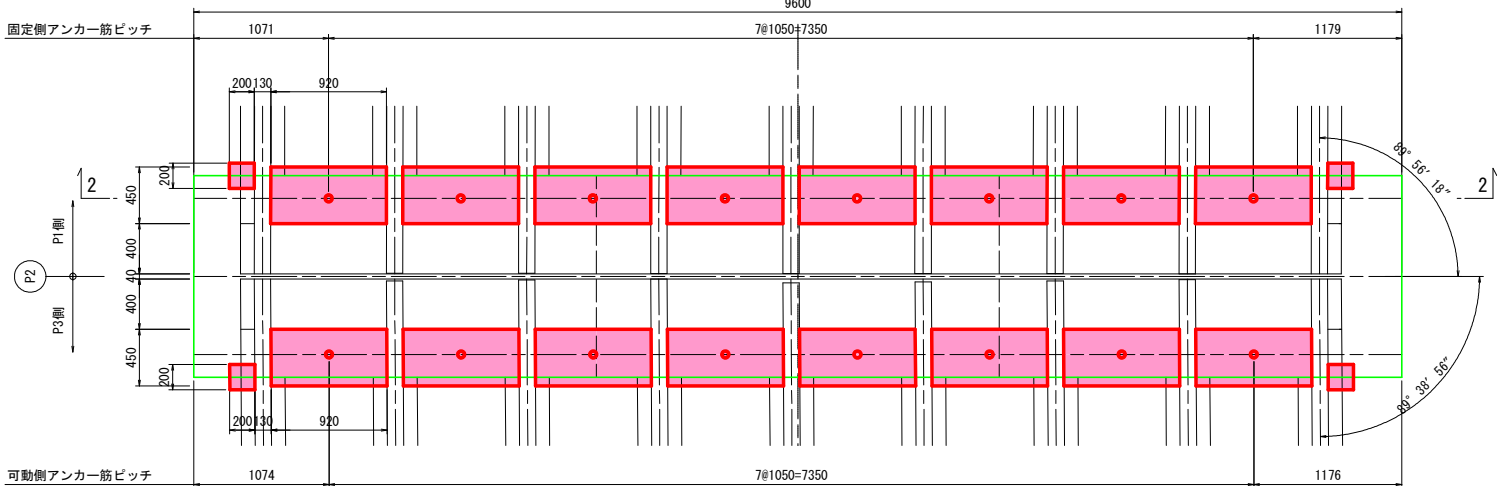
アンカー取付けフロー



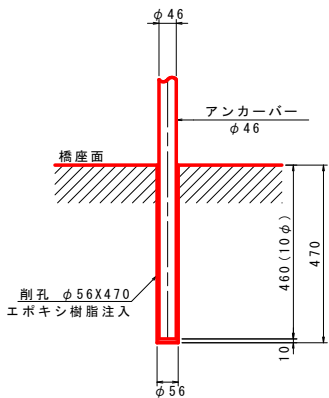
主桁削孔位置図 S=1:20



平面図



支承補強アンカーバー S=1:10



- 注) 1. 本図面は、既設資料および現地計測をもとに作成した図面である。  
2. 施工する際は、既設の計測を行い、施工を行うこと。  
3. 削孔する際は、既設鉄筋を切断しないように鉄筋探索を行うこと。  
4. 既設コンクリートとの接合部は、下地処理としてチッピングを行うこと。  
5. 鉄筋の埋込み長、定着鉄筋は鉄筋径の15倍、アンカーバーの上部工側は300mm以上かつ鉄筋径の6倍以上とする。下部工側は鉄筋径の10倍とする。  
6. 鉄筋の削孔深さ、定着鉄筋は鉄筋径の15倍+10mm、アンカーバーは埋込み長+10mmとする。  
7. 定着鉄筋、およびアンカーバーの削孔径は、鉄筋径+10mmとする。

設計条件

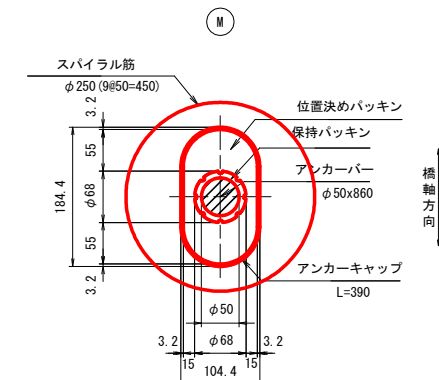
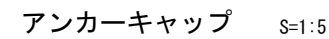
名称	仕様	
	横桁増厚部	桁座拡幅部
設計基準強度	30 N/mm <sup>2</sup>	24 N/mm <sup>2</sup>
鉄筋種別	SD345	
鉄筋定着長	30φ	35φ

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	支承補強 落橋防止システム構造図(その2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	17 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

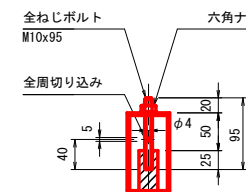
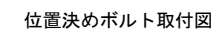
S=1 : 30



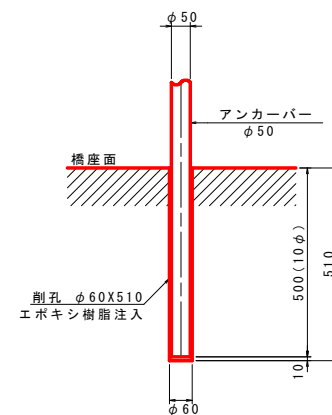
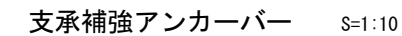
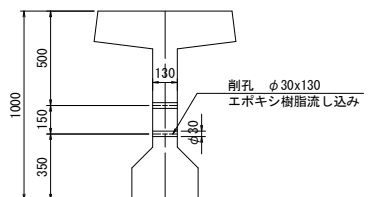
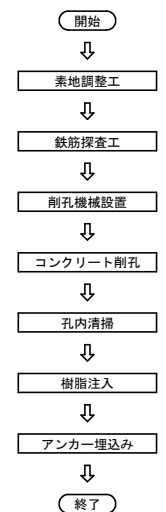
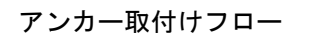
名称	寸法	材質	単位	数量	備考
防蝕アンカー装置	M50D	S350N S5400 CRスポンジ 合成ゴム SR235	組	8	
防蝕材	200X250X20	RDパッキン	枚	8	
アンカー剛孔	φ60X510	コア剛孔	箇所	8	



※アンカーバーの防錆はST-SGN12とする。



※ ボルト頭部に位置決め用の  
固定部材を設ける。



- 注) 1. 本図面は、既設資料および現地計測をもとに作成した図面である。  
2. 施工する際は、既設の計測を行い、施工を行うこととする。  
3. 削孔する際は、既設鉄筋を切断しないよう鉄筋探査を行うこととする。  
4. 既設コンクリートとの接合部は、下地処理としてチッピングを行うこととする。  
5. 鉄筋の埋込み長、定着鉄筋は鉄筋径の15倍、アンカーバーの上部工側は300mm以上かつ鉄筋径の6倍以上とする。下部工側は鉄筋径の10倍とする。  
6. 鉄筋の削孔深さ、定着鉄筋は鉄筋径の15倍+10mm、アンカーバーは埋込み長+10mmとする。  
7. 定着鉄筋、およびアンカーバーの削孔径は、鉄筋径+10mmとする。

設計条件		
名称	仕様	
	横桁増厚部	桁座幅補部
設計基準強度	30 N/mm <sup>2</sup>	24 N/mm <sup>2</sup>
鉄筋種別	SD345	
鉄筋定着長	30 φ	35 φ

工事名	県道栗河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	支承補強 落橋防止システム構造物(その3)		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	18 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

横桁増厚配筋図(その1)  
(P3橋脚)

S=1 : 30

側面図  
4-4

かぶり詳細図 S=1:10

横桁増厚部

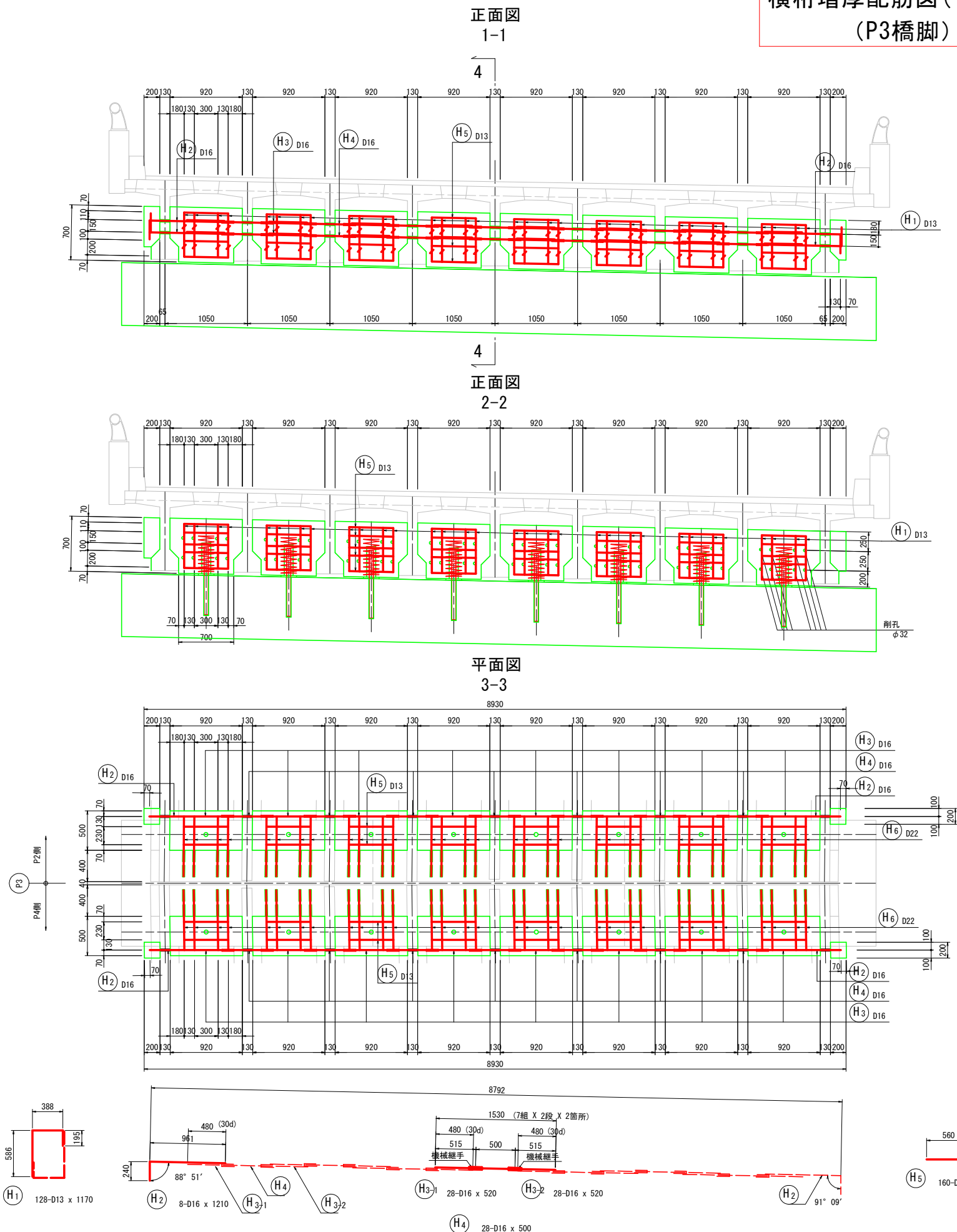
補強鉄筋組立詳細図 S=1:10

主桁削孔位置図 S=1:20

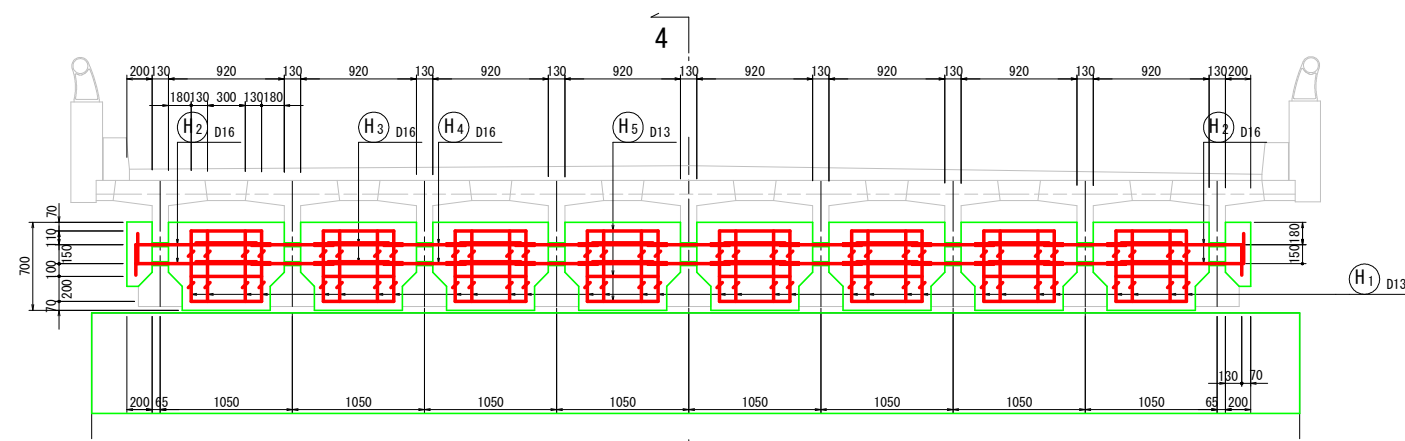
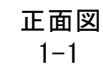
削孔詳細図 S=1:5

種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
H 1	D13	1170	128	0.995	1.16	148	┌
H 2	D16	1210	8	1.56	1.89	15	└
H 3-1	D16	520	28	1.56	0.81	23	— (28)
H 3-2	D16	520	28	1.56	0.81	23	—
H 4	D16	500	28	1.56	0.78	22	— (28)
H 5	D13	560	160	0.995	0.56	90	—
H 6	D22	1110	128	3.04	3.37	431	└
						752 kg	
(機械継手箇所)							
合 計				D22	431 kg		
				D16	83 kg	( 56)	
				D13	238 kg		
総質量				752 kg	( 56)		

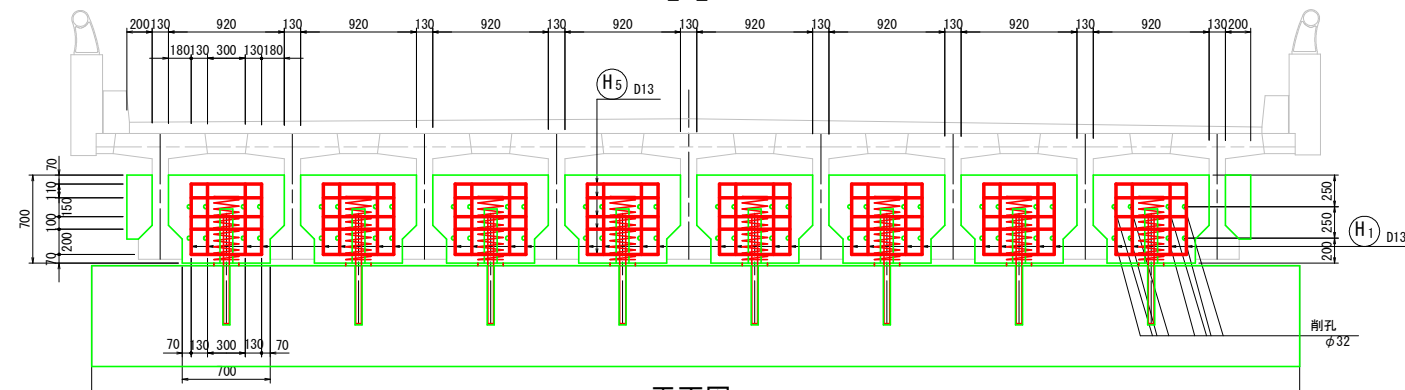
工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	横析増厚配筋図(その1)		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	19 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		



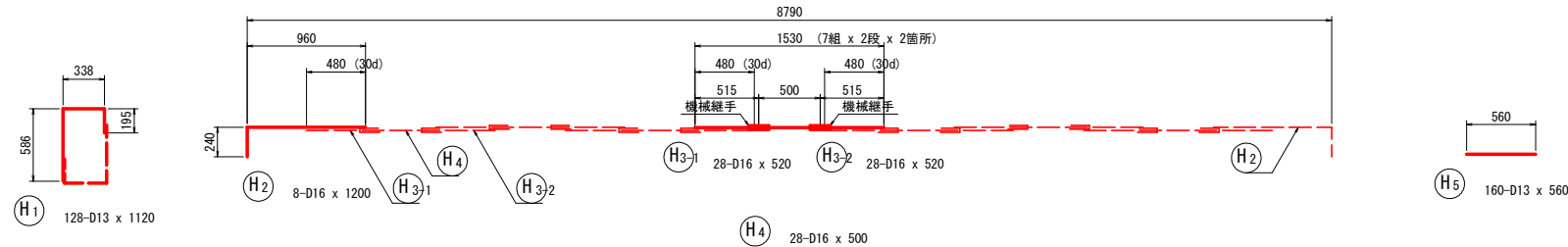
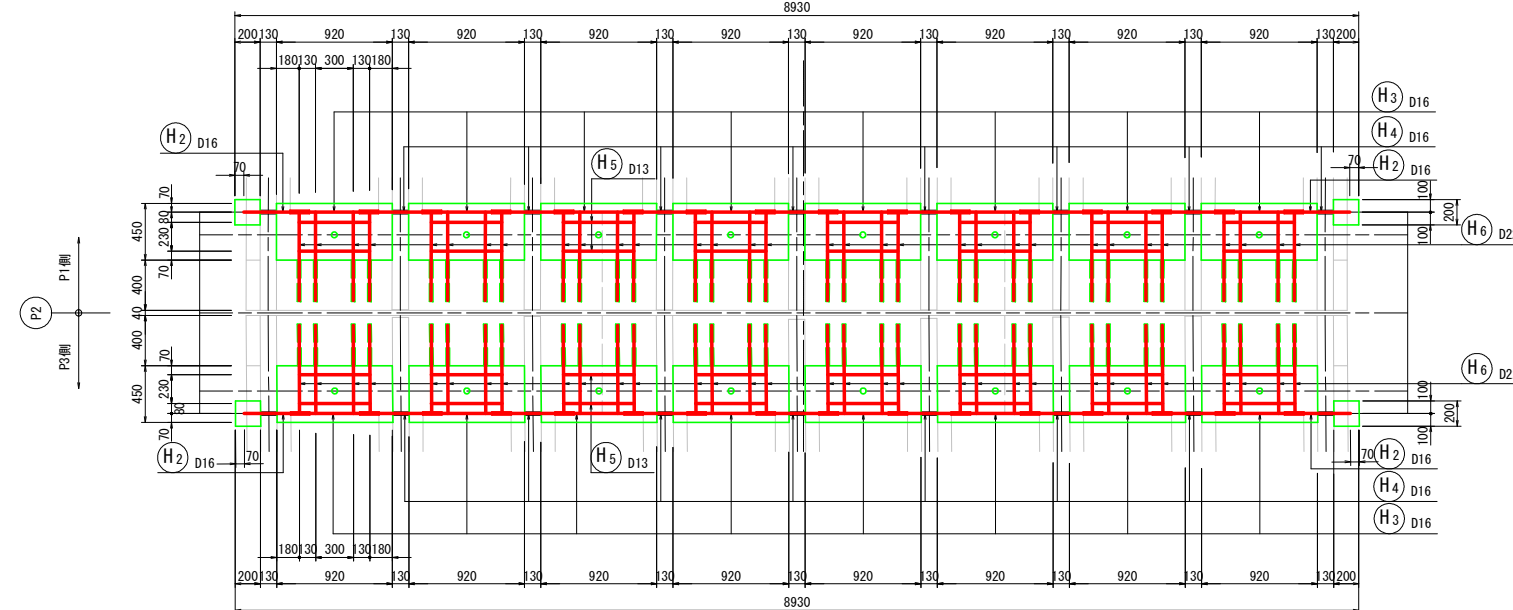
横桁増厚配筋図(その2)  
(P2橋脚)



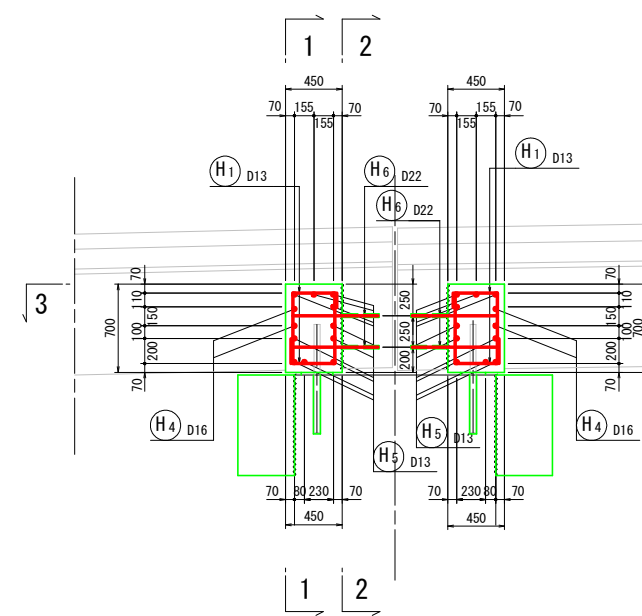
正面図  
2-2



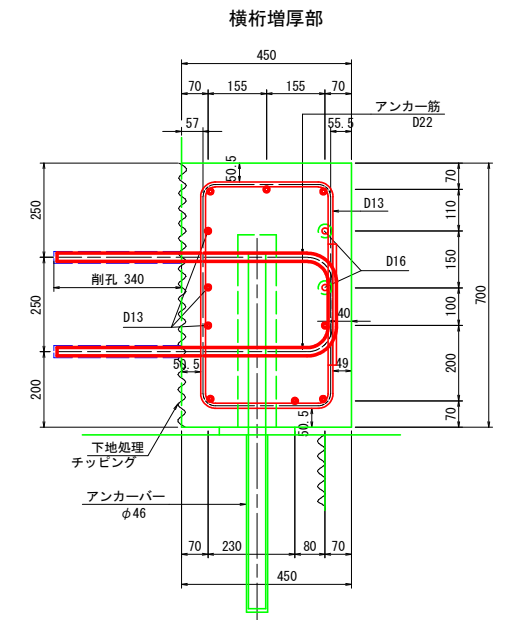
平面図  
3-3



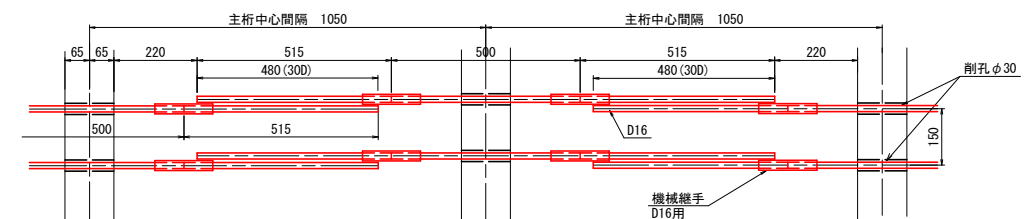
側面図  
4-4



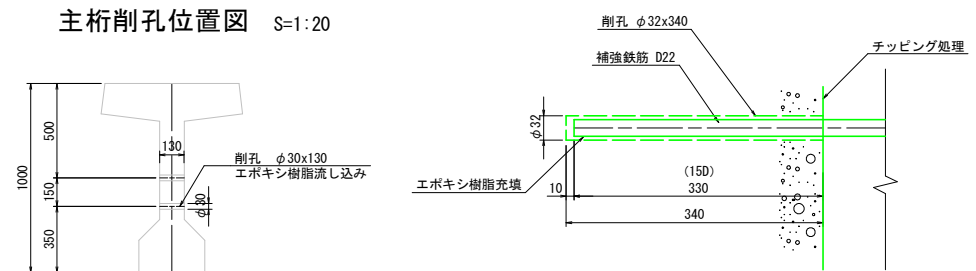
かぶり詳細図 S=1:10



補強鉄筋組立詳細図 S=1:10



削孔詳細図 S=1:5



主桁削孔位置図 S=1:20

鉄筋質量表 (SD345)

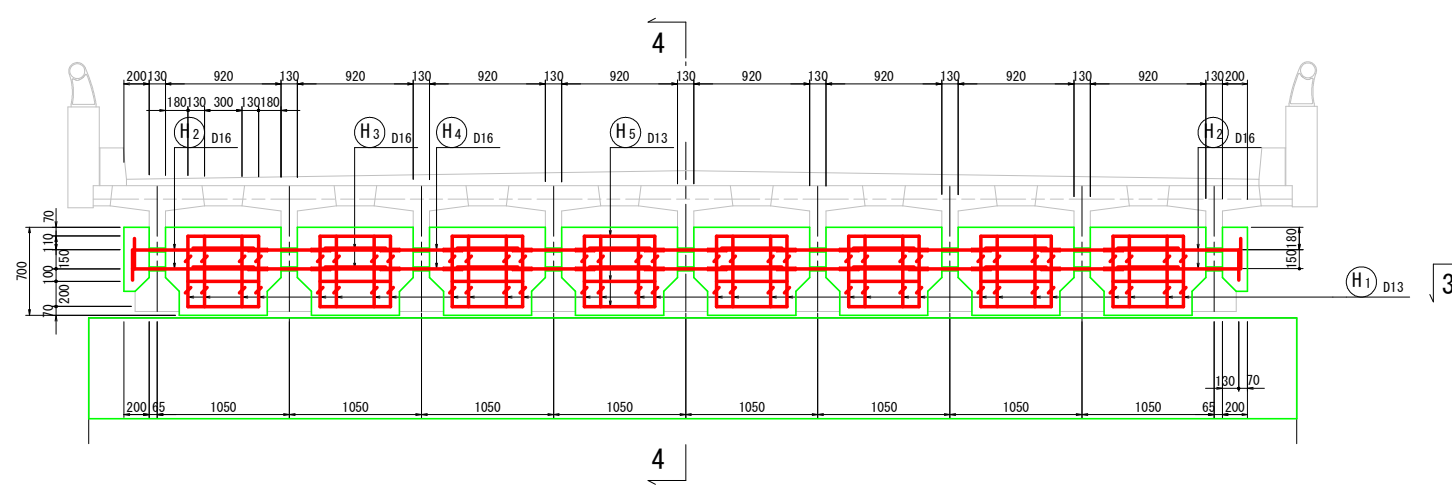
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質　量 (kg)	摘　要
H 1	D13	1120	128	0.995	1.11	142	□
H 2	D16	1200	8	1.56	1.87	15	└─┘
H 3-1	D16	520	28	1.56	0.81	23	── (28)
H 3-2	D16	520	28	1.56	0.81	23	▬
H 4	D16	500	28	1.56	0.78	22	▬ (28)
H 5	D13	560	160	0.995	0.56	90	──
H 6	D22	1060	128	3.04	3.22	412	┐
<b>727 kg</b>							
(機械継手箇所)							
合　計		D22		412 kg			
		D16		83 kg	( 56)		
		D13		232 kg			
総質量				727 kg	( 56)		

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	横桁増厚配筋図(その2)		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	20 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

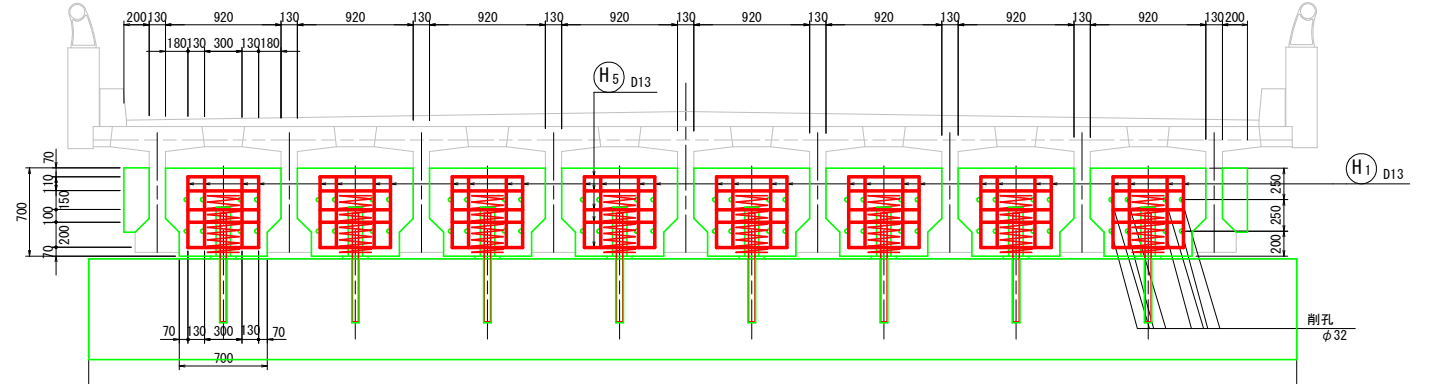


横桁増厚配筋図(その3)  
(P1橋脚 終点側)

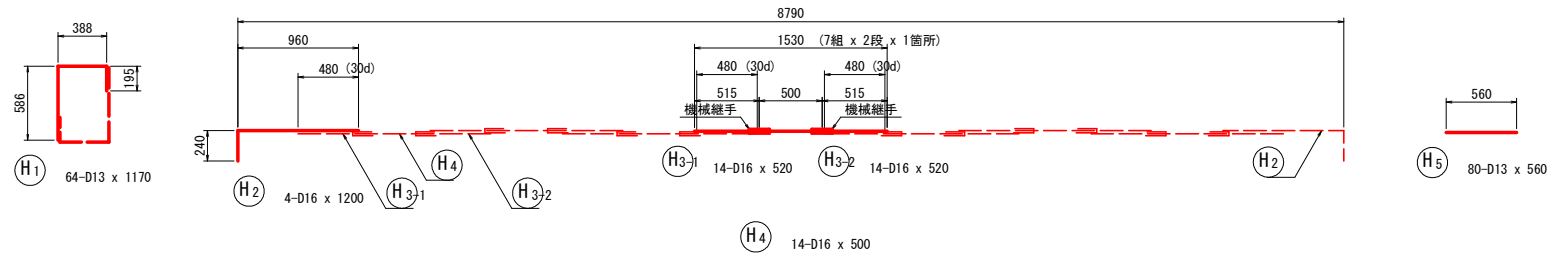
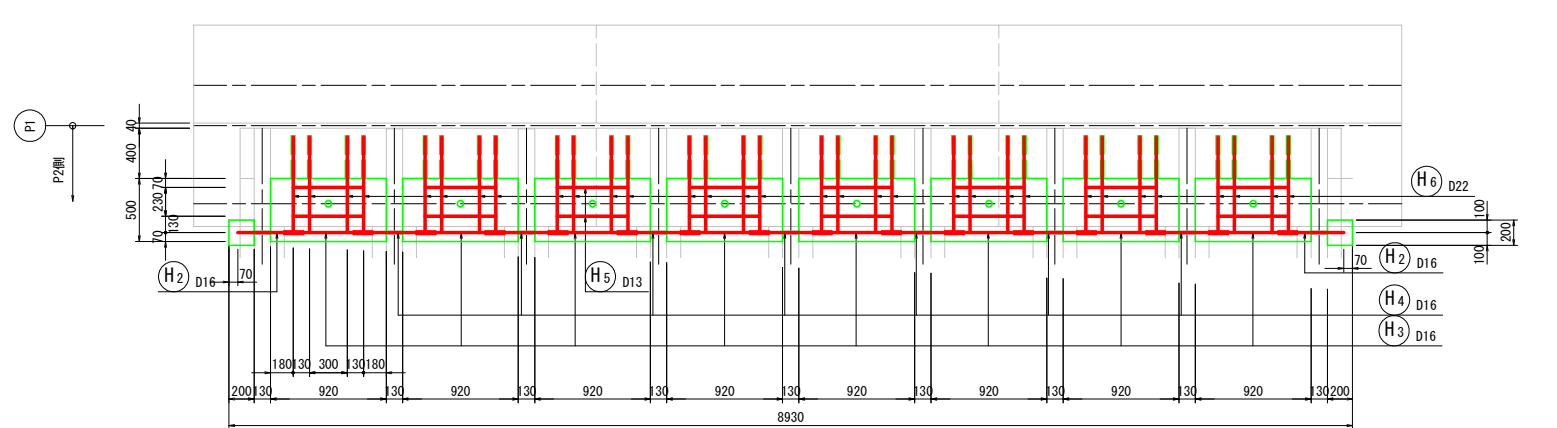
正面図  
1-1



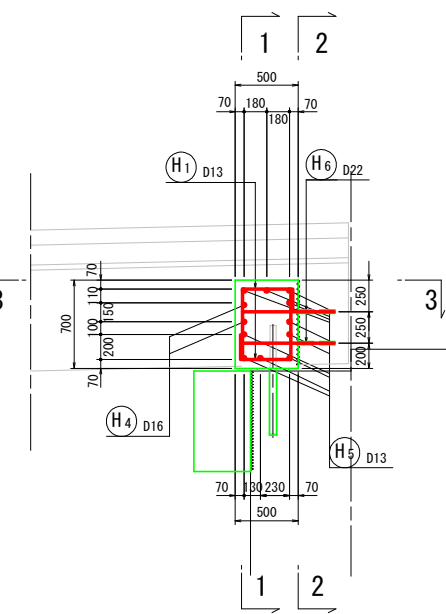
正面図  
2-2



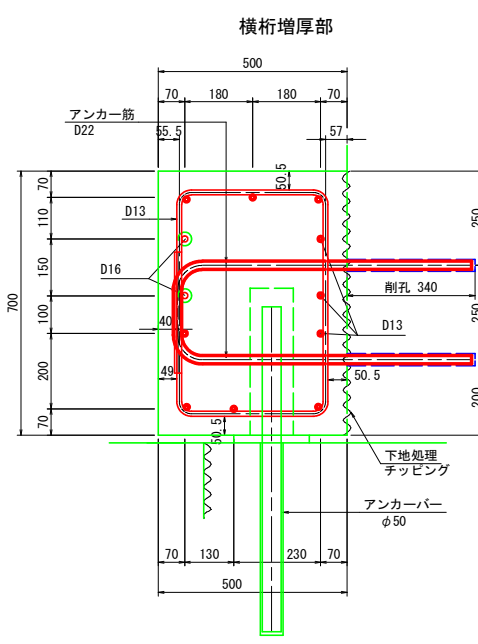
平面図  
3-3



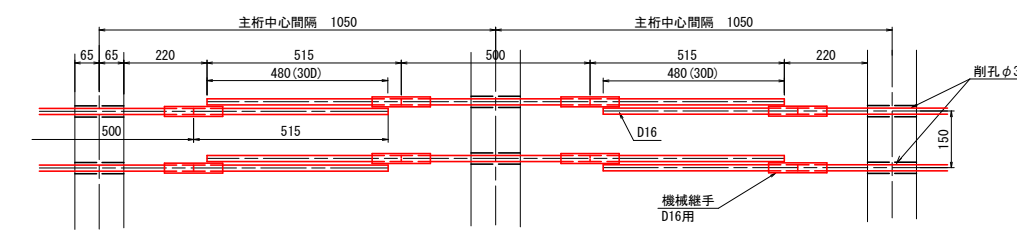
側面図  
4-4



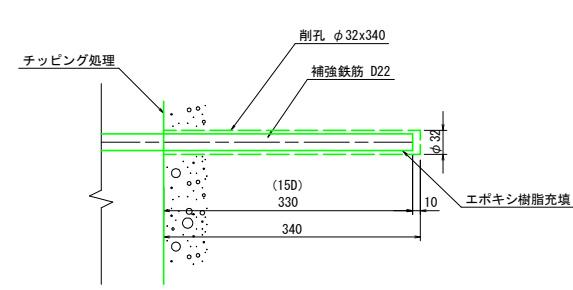
かぶり詳細図 S=1:10



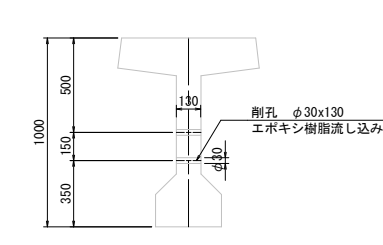
補強鉄筋組立詳細図 S=1:10



削孔詳細図 S=1:5



主桁削孔位置図 S=1:20

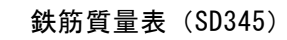
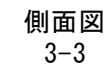


鉄筋質量表 (SD345)

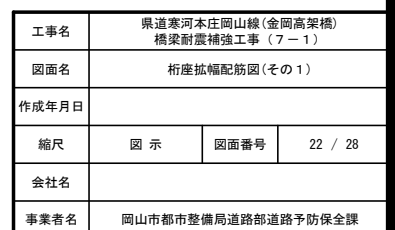
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
H 1	D13	1170	64	0.995	1.16	74	┌
H 2	D16	1200	4	1.56	1.87	7	└
H 3-1	D16	520	14	1.56	0.81	11	—— (14)
H 3-2	D16	520	14	1.56	0.81	11	—— (14)
H 4	D16	500	14	1.56	0.78	11	—— (14)
H 5	D13	560	80	0.995	0.56	45	——
H 6	D22	1110	64	3.04	3.37	216	└
375 kg							
(機械継手箇所)							
合 計 D22				216 kg			
D16				40 kg	( 28)		
D13				119 kg			
総質量				375 kg	( 28)		

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋)		
図面名	橋梁耐震補強工事(7-1)		
作成年月日	横桁増厚配筋図(その3)		
縮尺	図 示	図面番号	21 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

S=1 : 30

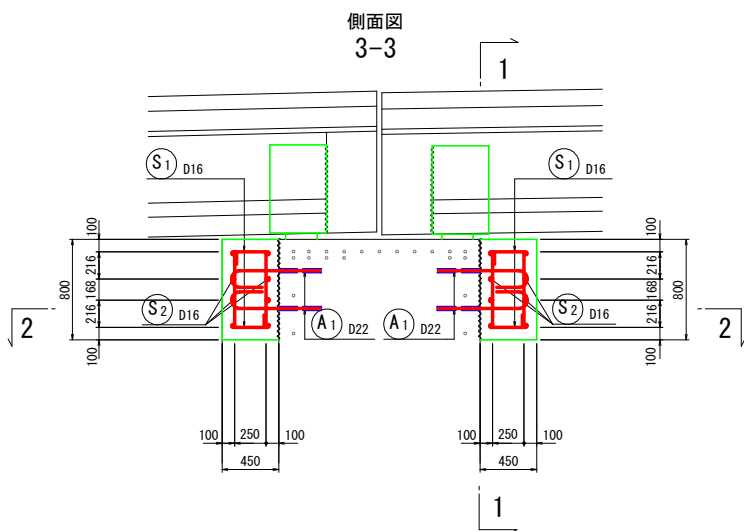
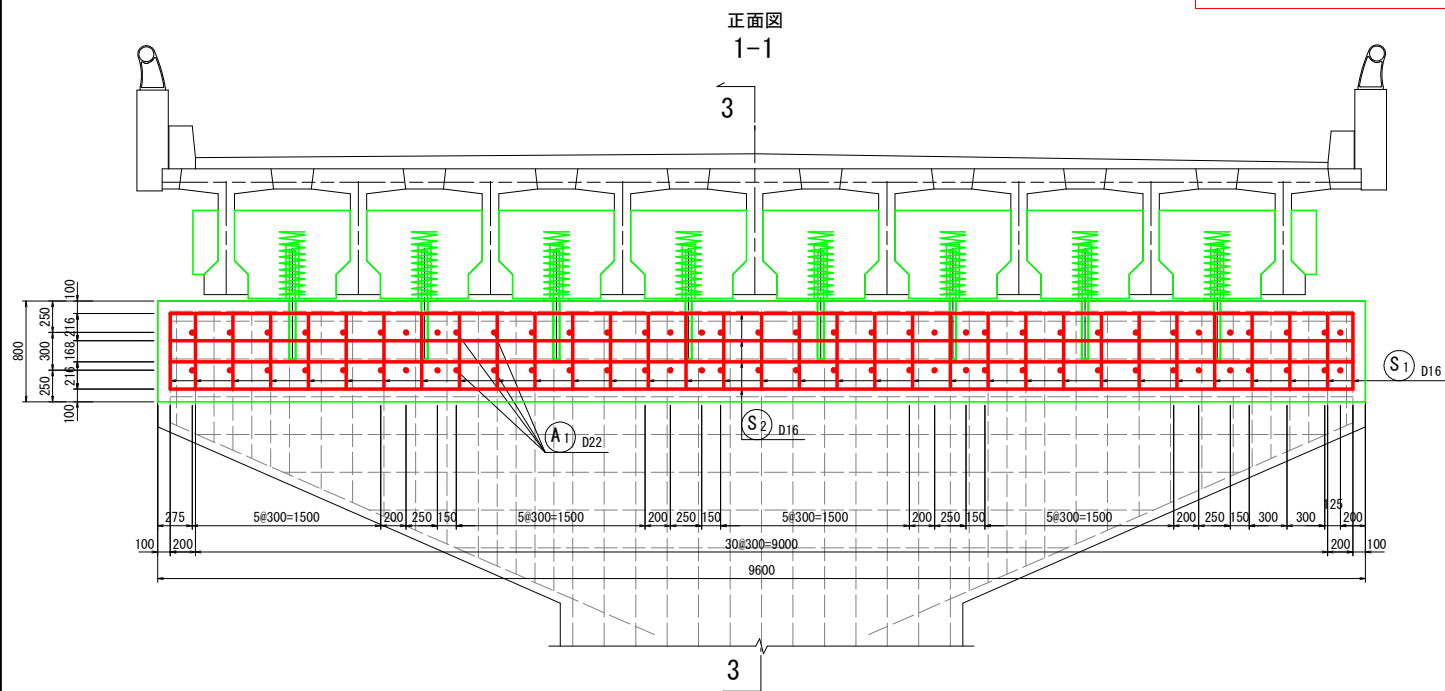


かぶり詳細図 S=1:10



桁座拡幅配筋図(その2)  
(P2橋脚：落橋防止構造1.5SE)

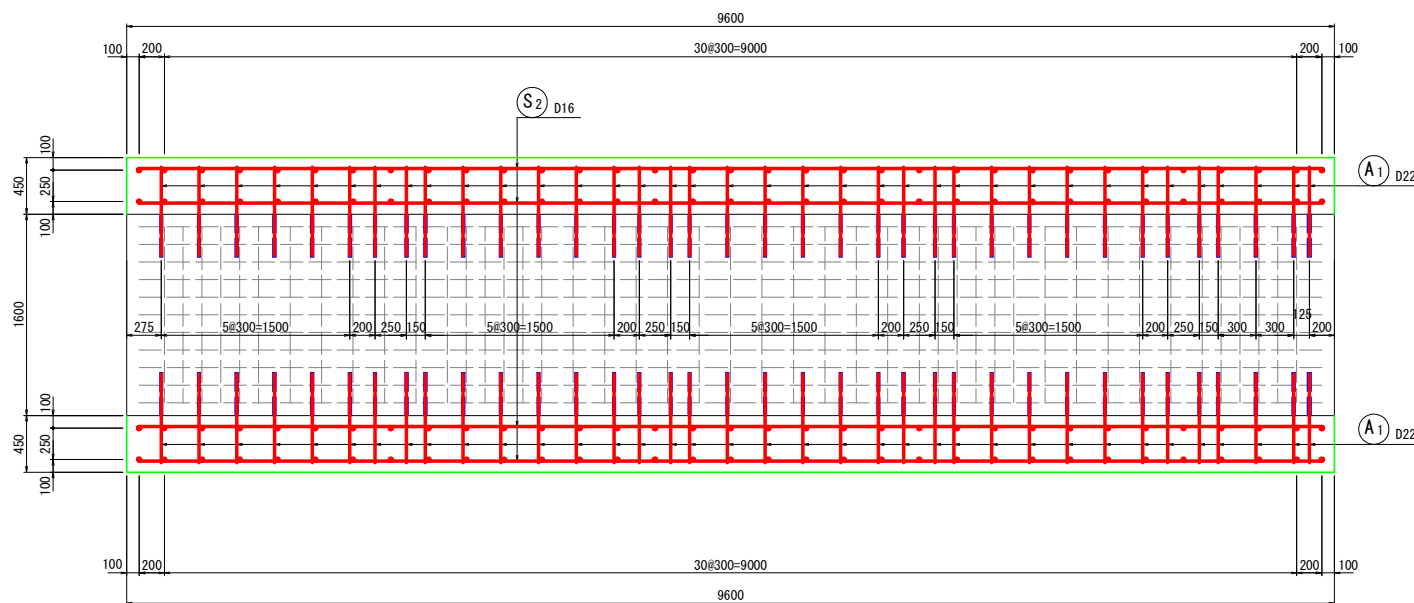
S=1:30



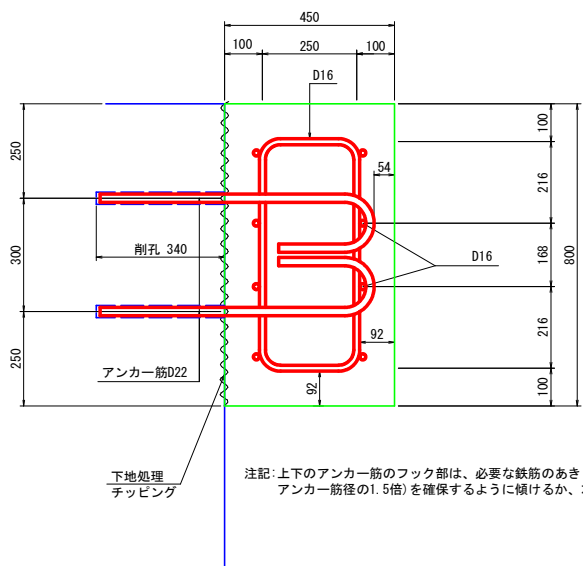
鉄筋質量表 (SD345)

種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
A 1	D22	1040	144	3.04	3.16	455	
455 kg							
S 1	D16	1050	132	1.56	1.64	216	
S 2	D16	9400	16	1.56	14.66	235	
451 kg							
合 計 D22							455 kg
D16							451 kg
総質量							906 kg

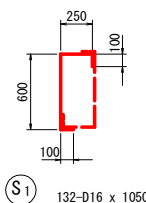
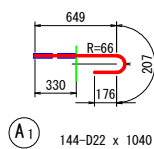
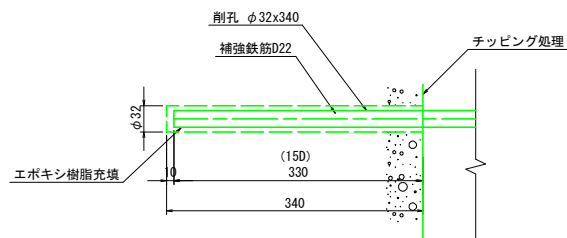
平面図  
2-2



かぶり詳細図 S=1:10



削孔詳細図 S=1:5

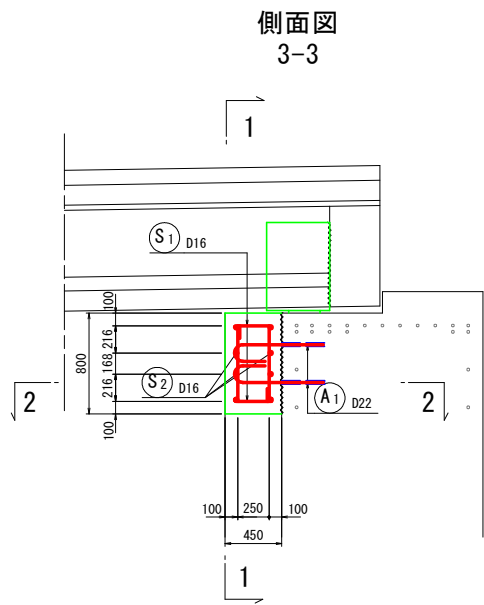
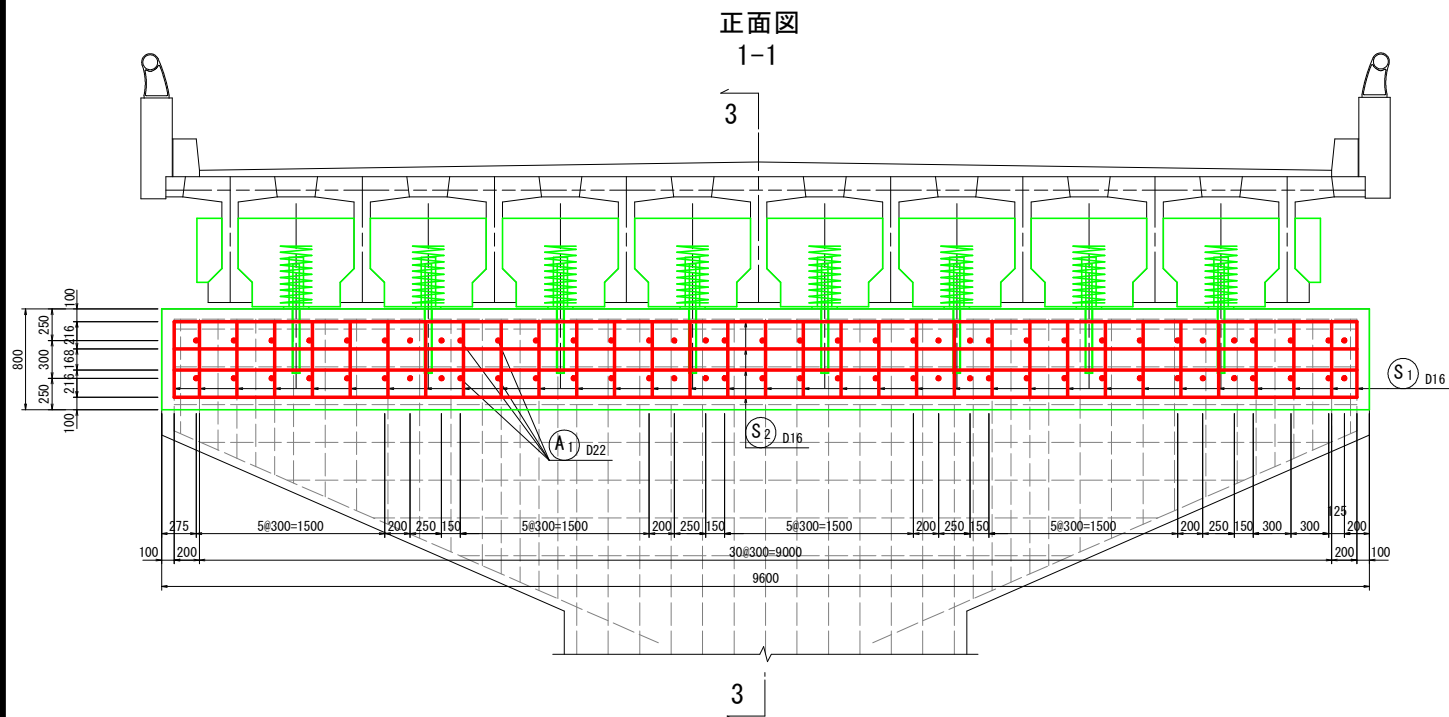


S2 16-D16 x 9400

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	桁座拡幅配筋図(その2)		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	23 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

桁座拡幅配筋図(その3)  
(P1橋脚 終点側：落橋防止構造1.5SE)

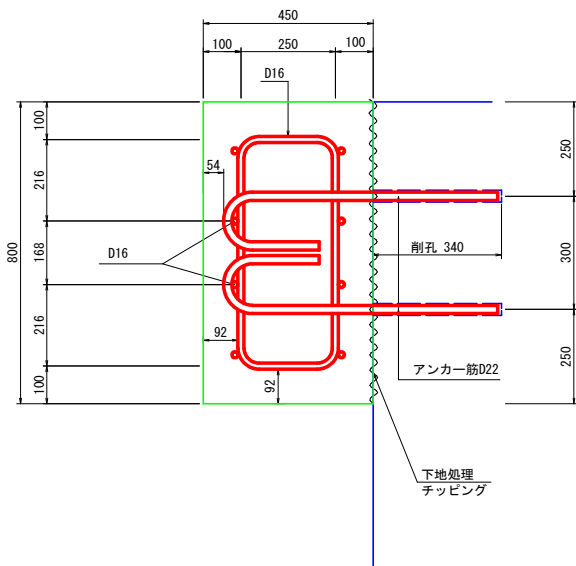
S=1:30



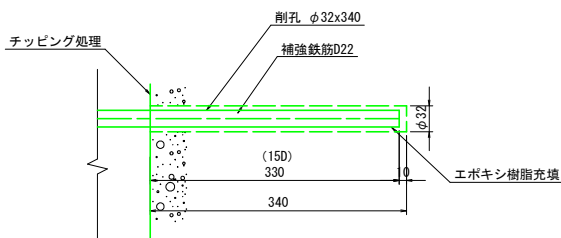
鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
A 1	D22	1040	72	3.04	3.16	228	
228 kg							
S 1	D16	1050	66	1.56	1.64	108	
S 2	D16	9400	8	1.56	14.66	117	
225 kg							
合 計				D22		228 kg	
				D16		225 kg	
総質量						453 kg	

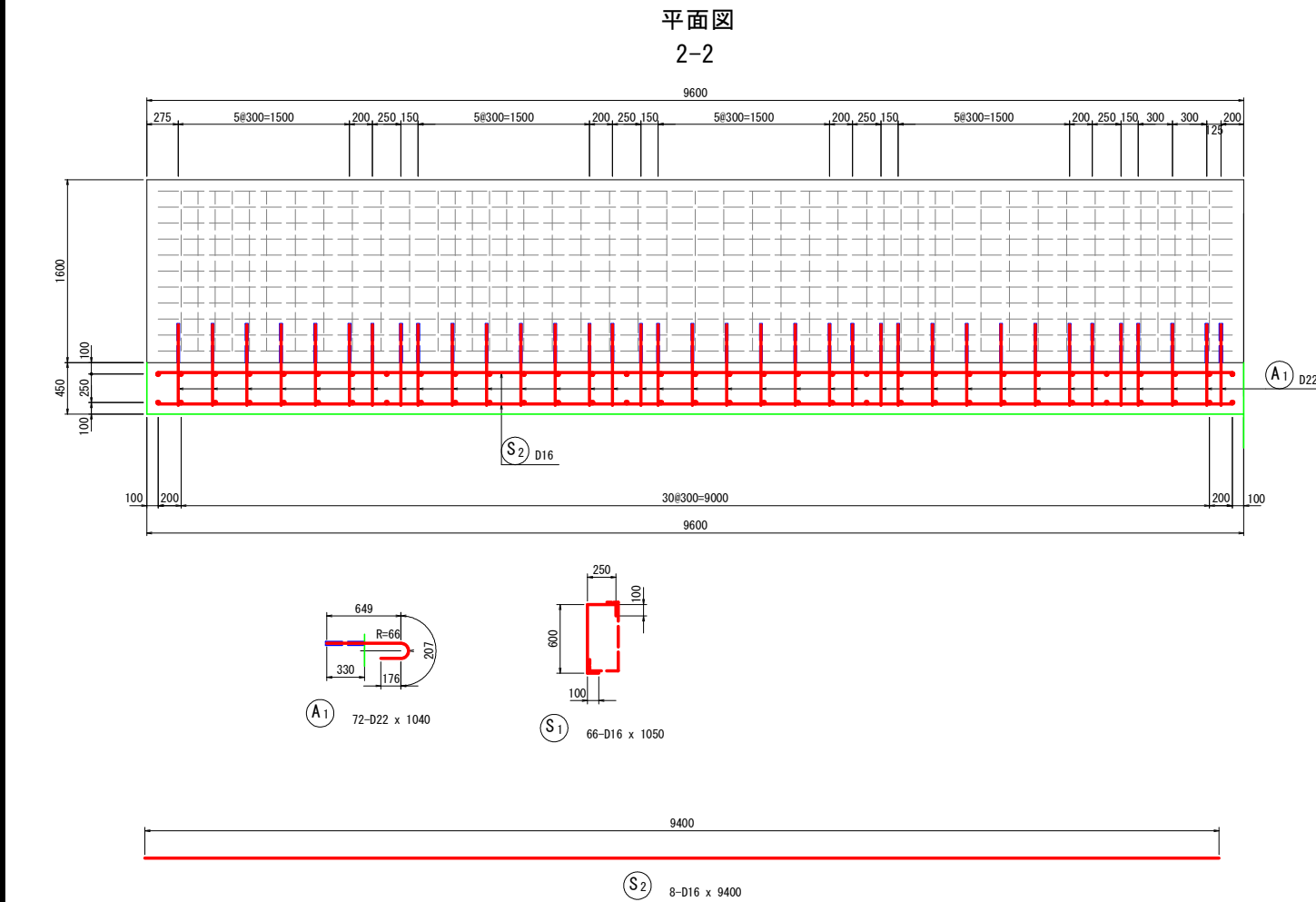
かぶり詳細図 S=1:10



削孔詳細図 S=1:5



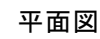
注記: 上下のアンカー筋のフック部は、必要な鉄筋のあき(粗骨材寸法の4/3、かつ、アンカー筋径の1.5倍)を確保するように傾けるか、左右にずらすこと。



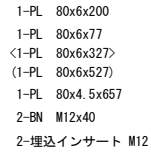
工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	桁座拡幅配筋図(その3)		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	24 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

S=1 : 50

側面図



S=1:5



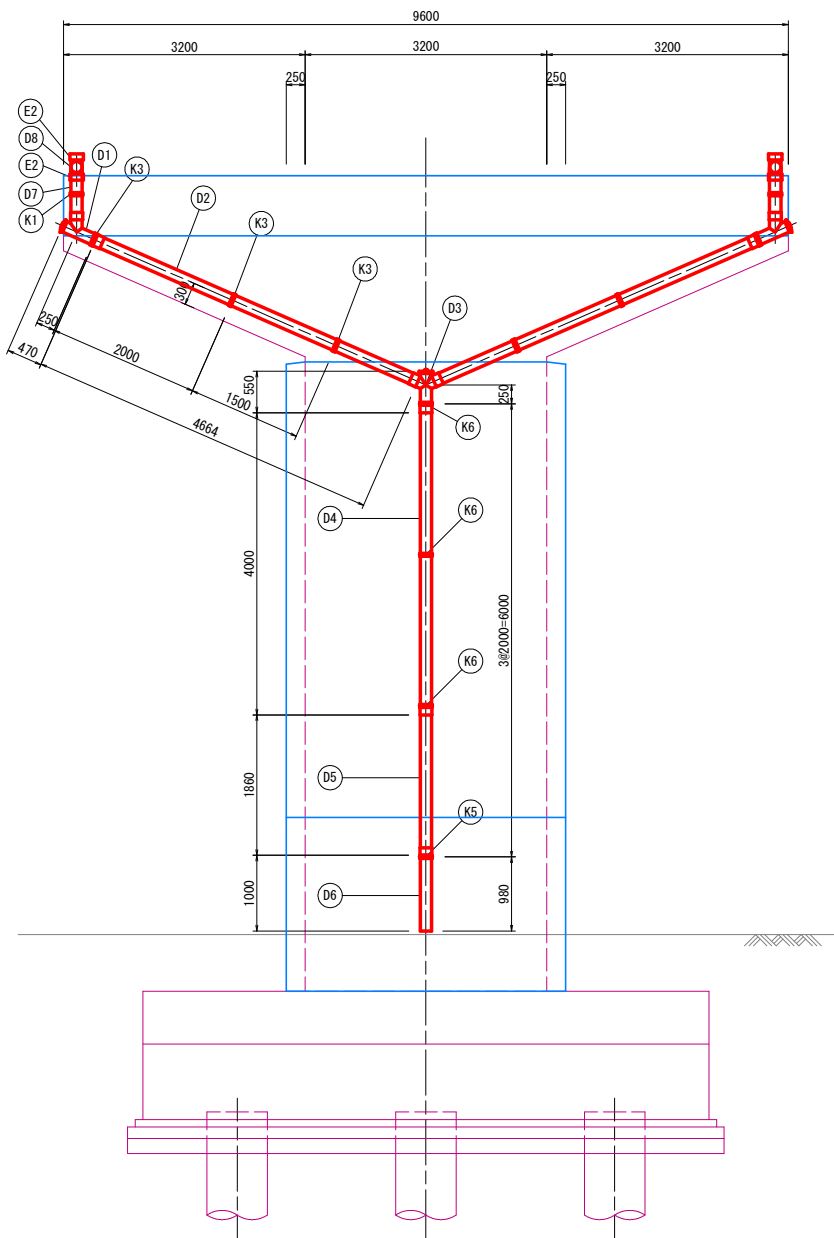
記号	規格・寸法	個数	備考
D1	VP150x660	1	再利用
D2	VP150x458	1	新規
D3	VP150x195	1	〃
D4	VP150x2220	1	〃
D5	VP150x550	1	再利用
D6	VP150x4000	1	〃
D7	VP150x1860	1	〃
D8	VP150x1400	1	〃
D9	VP150x659	1	新規
D10	VP150x294	1	〃
E1	45° エルボ	2	〃
E2	90° エルボ	2	〃
K1	取付け金具	5	〃
K2	取付け金具	2	〃
K3	取付け金具	2	〃

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	排水工詳細図(その1)		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	25 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

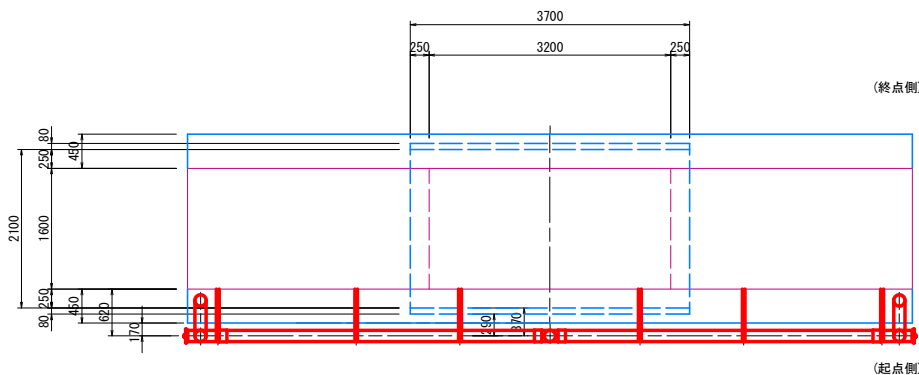
排水工詳細図(その2)  
＜P2橋脚＞

S=1:50

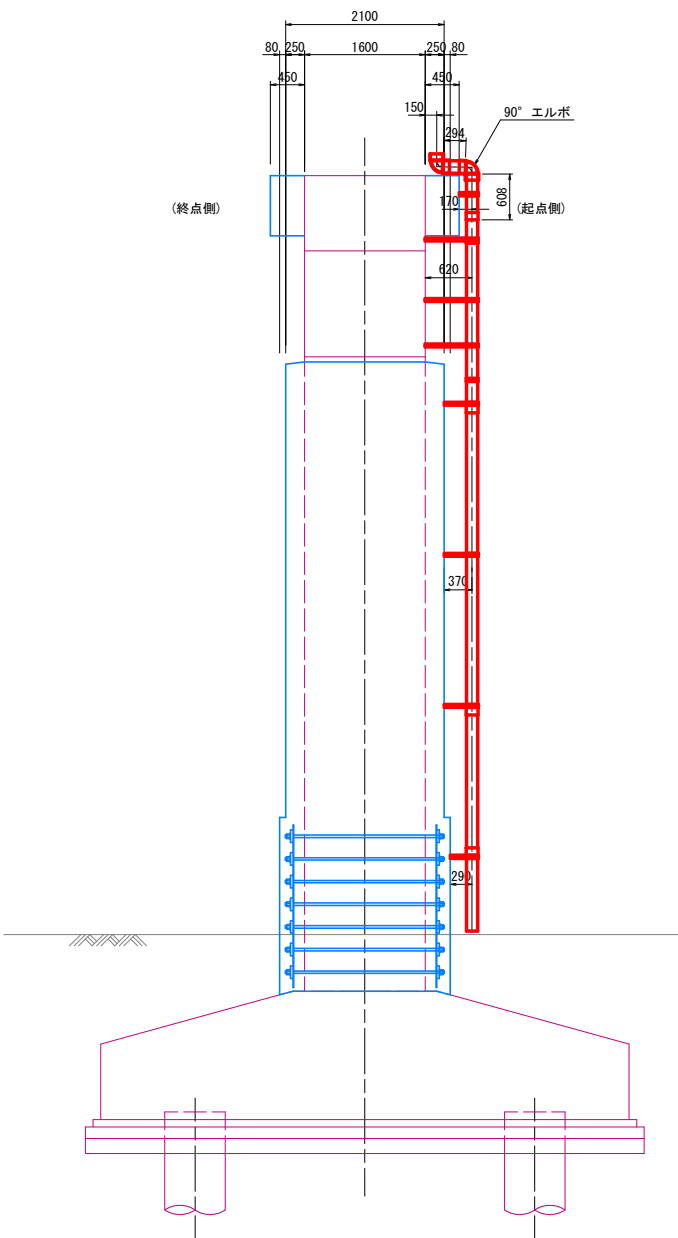
正面図(起点側)



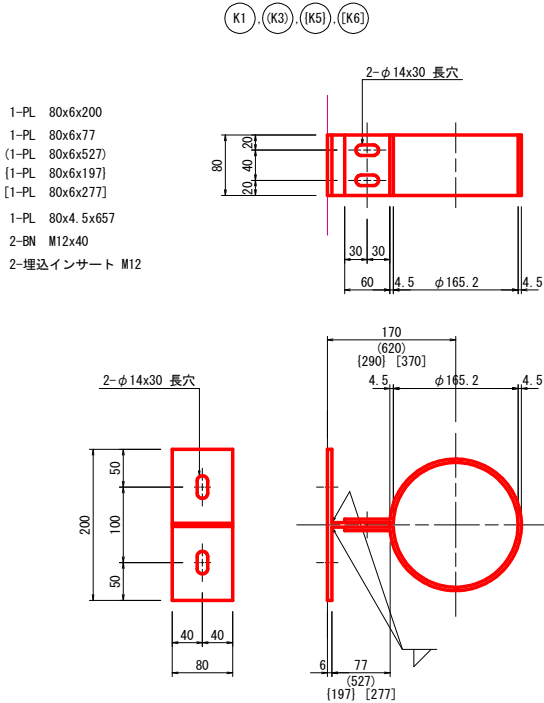
平面図



側面図



取付け金具 S=1:5



排水管材料表(1脚当り)

記号	規格・寸法	個数	備考
D1	VP1150x470	2	再利用
D2	VP150x4664	2	〃
D3	VP1150x550	1	〃
D4	VP150x4000	1	〃
D5	VP150x1860	1	〃
D6	VP150x1000	1	〃
D7	VP150x608	2	新規
D8	VP150x294	2	〃
E2	90° エルボ	4	〃
K1	取付け金具	2	〃
K3	取付け金具	6	〃
K5	取付け金具	1	〃
K6	取付け金具	3	〃

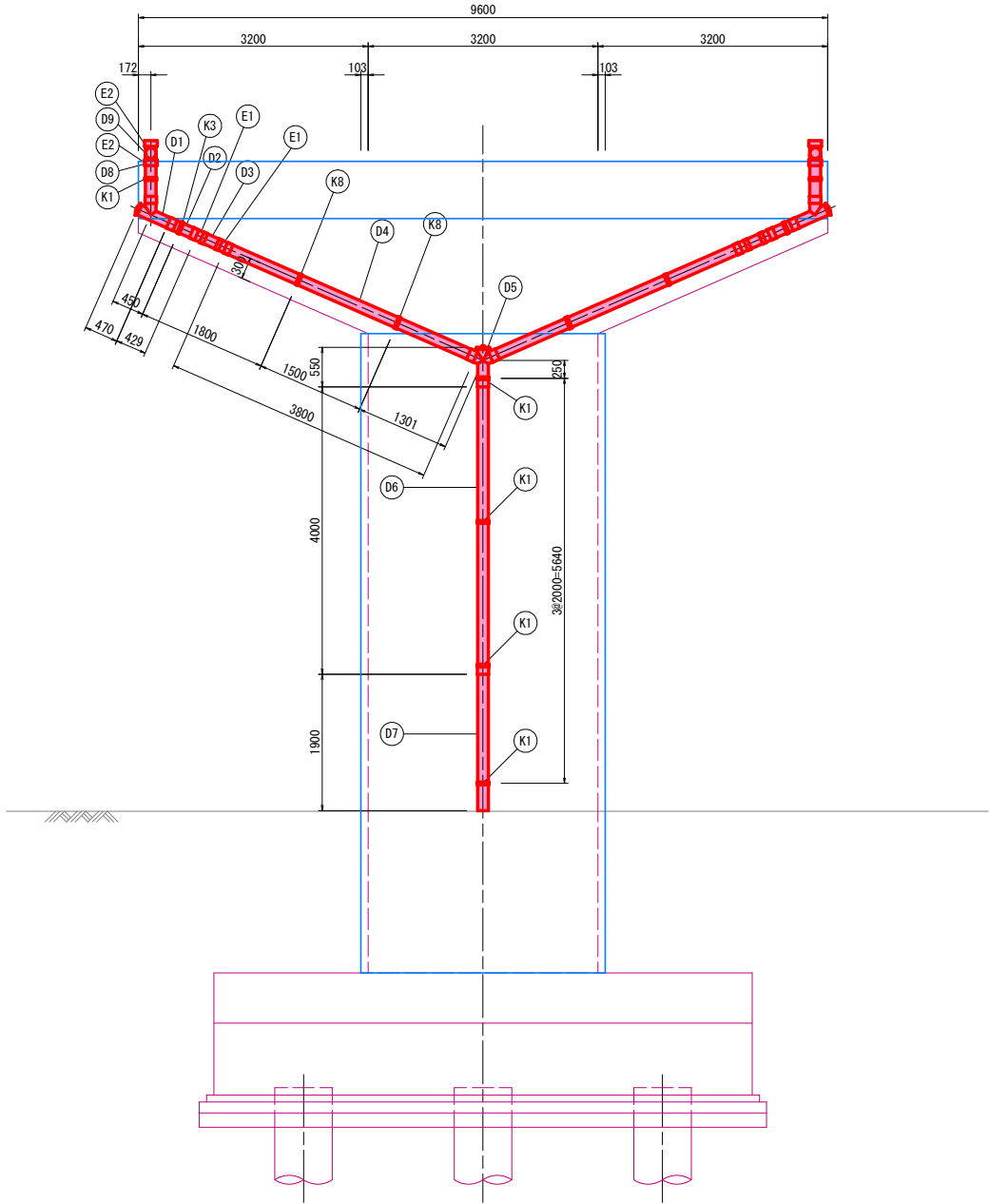
注) 1. 特記なき材質はすべてSS400とする。  
2. 全て溶融亜鉛メッキとする。  
3. PL類亜鉛メッキHDZ55とし、ボルト類は亜鉛メッキHDZ35とする。

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	排水工詳細図(その2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	26 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

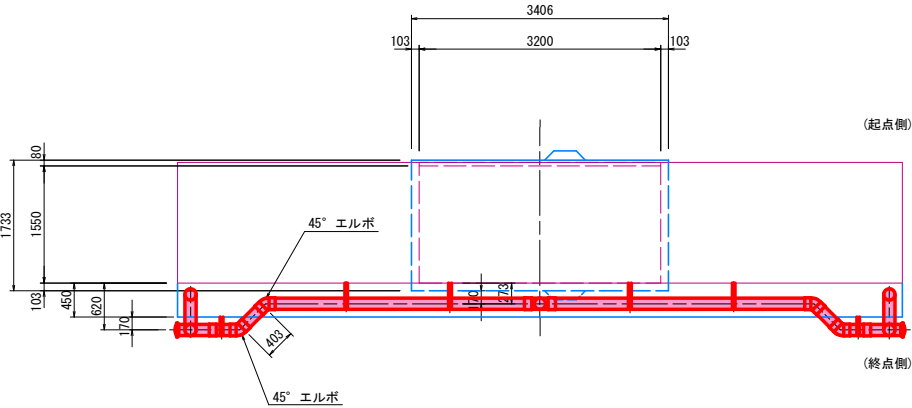


排水工詳細図(その3) S=1:50  
〈P1橋脚〉

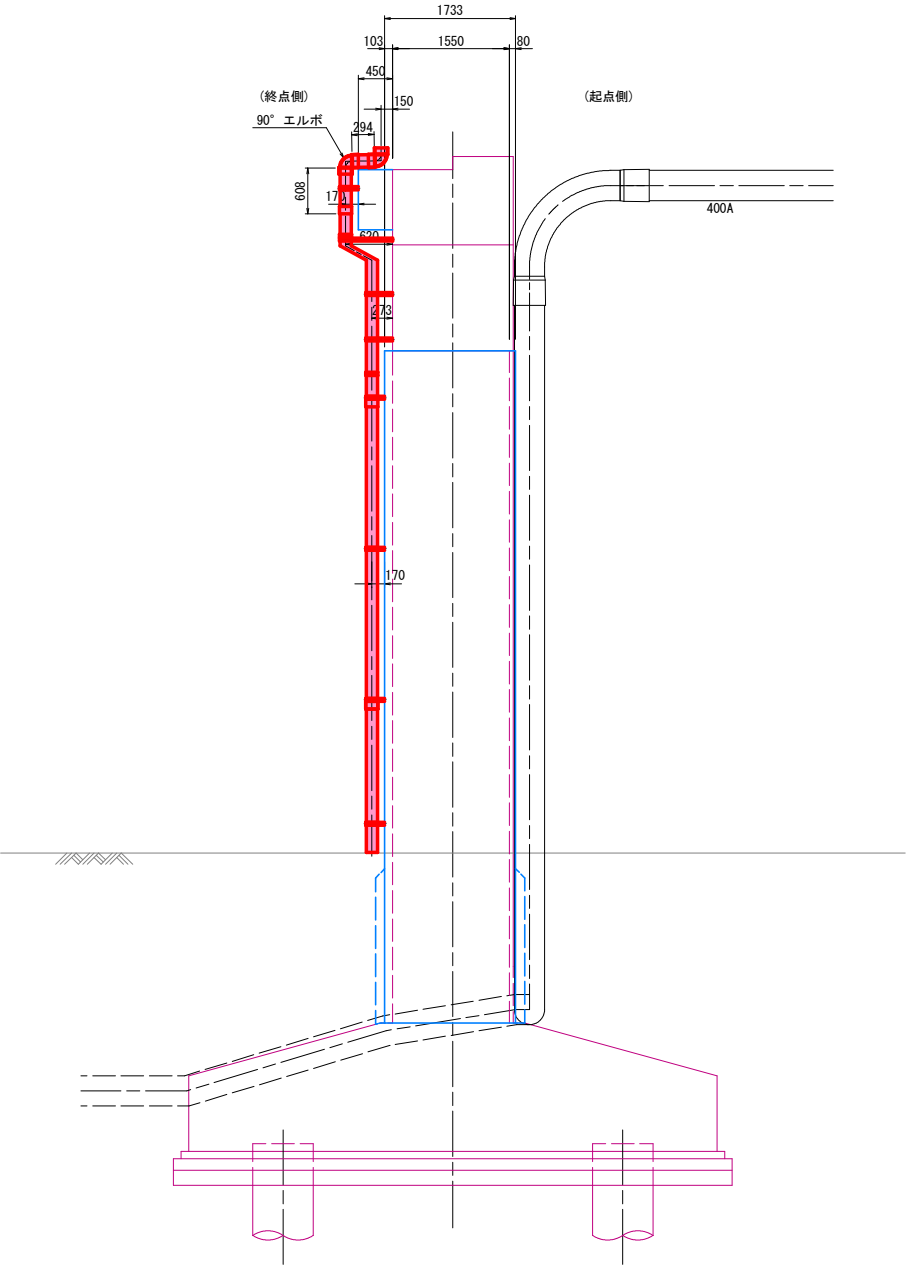
正面図(終点側)



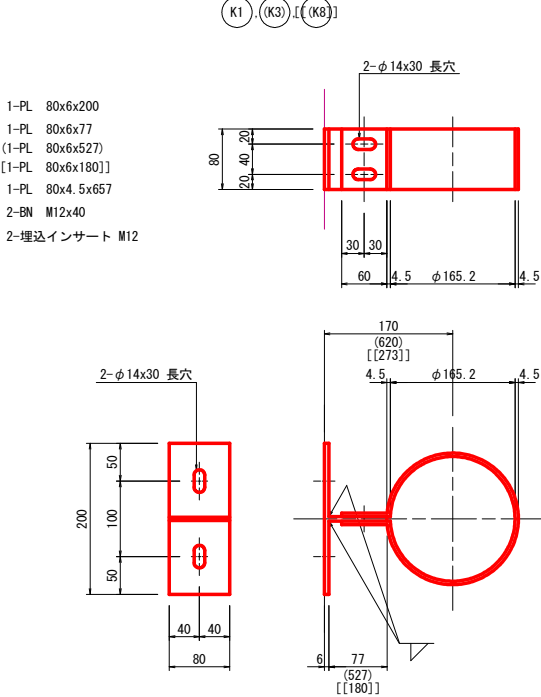
平面図



側面図



取付け金具 S=1:5



排水管材料表(1脚当り)

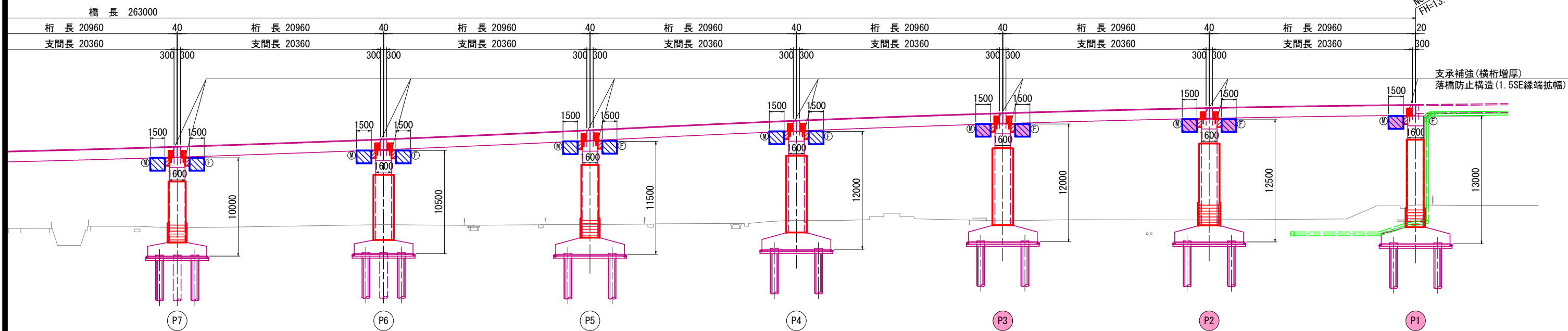
記号	規格・寸法	個数	備考
D1	VP1150x470	2	再利用
D2	VP150x429	2	新規
D3	VP150x403	2	〃
D4	VP150x3800	2	〃
D5	VP1150x550	1	再利用
D6	VP150x4000	1	〃
D7	VP150x1900	1	〃
D8	VP150x608	2	新規
D9	VP150x274	2	〃
E1	45° エルボ	4	〃
E2	90° エルボ	4	〃
K1	取付け金具	6	〃
K3	取付け金具	2	〃
K8	取付け金具	4	〃

注) 1. 特記なき材質はすべてSS400とする。  
2. 全て溶融亜鉛メッキとする。  
3. PL類亜鉛メッキHDZ55とし、ボルト類は亜鉛メッキHDZ35とする。

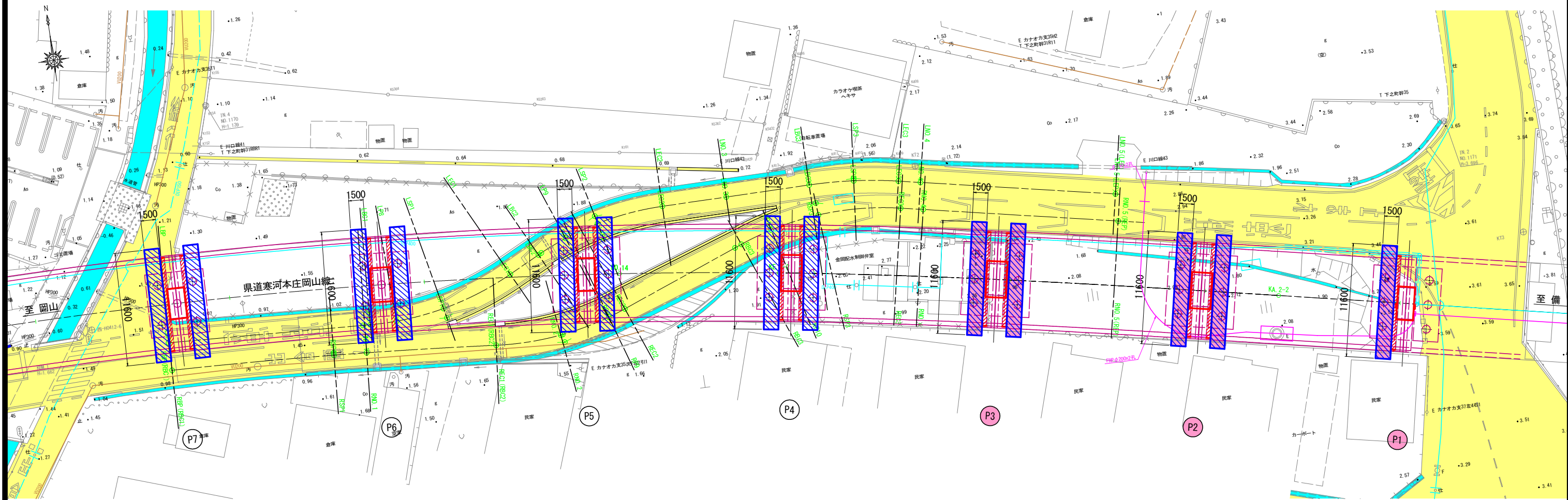
工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	排水工詳細図(その3)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	27 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

S=1 : 200

側 面 図



平面图



工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	支承補強 落橋防止システム 足場計画図(案)		
作成年月日			
縮尺	1:200	図面番号	28 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

注記：起点側現況地形は、「地理院地図」をトレースしたものである。